

第13回 新たな地域精神保健医療体制の構築に向けた検討チーム	
平成22年11月25日	資料1-2-2

(第11回新たな地域精神保健医療体制の構築に向けた検討チーム 資料2)

「精神病床における認知症入院患者に関する調査」について

精神病床における認知症入院患者に関する調査概要

1 目的

精神科病院における認知症入院患者に対する医療の状況、患者の状態等について、既存の調査では把握されていない点について詳細に把握し、新たな地域精神保健医療体制の構築に向けた検討チームにおける検討資料とする。

2 調査対象

認知症治療病棟入院料1（6病棟）、認知症治療病棟入院料2（1病棟）
精神病棟入院基本料（1病棟）、精神療養病棟入院料（1病棟）、
老人性認知症疾患療養病棟（1病棟）の計10病棟（9病院）、計454人の認知症患者

3 調査方法

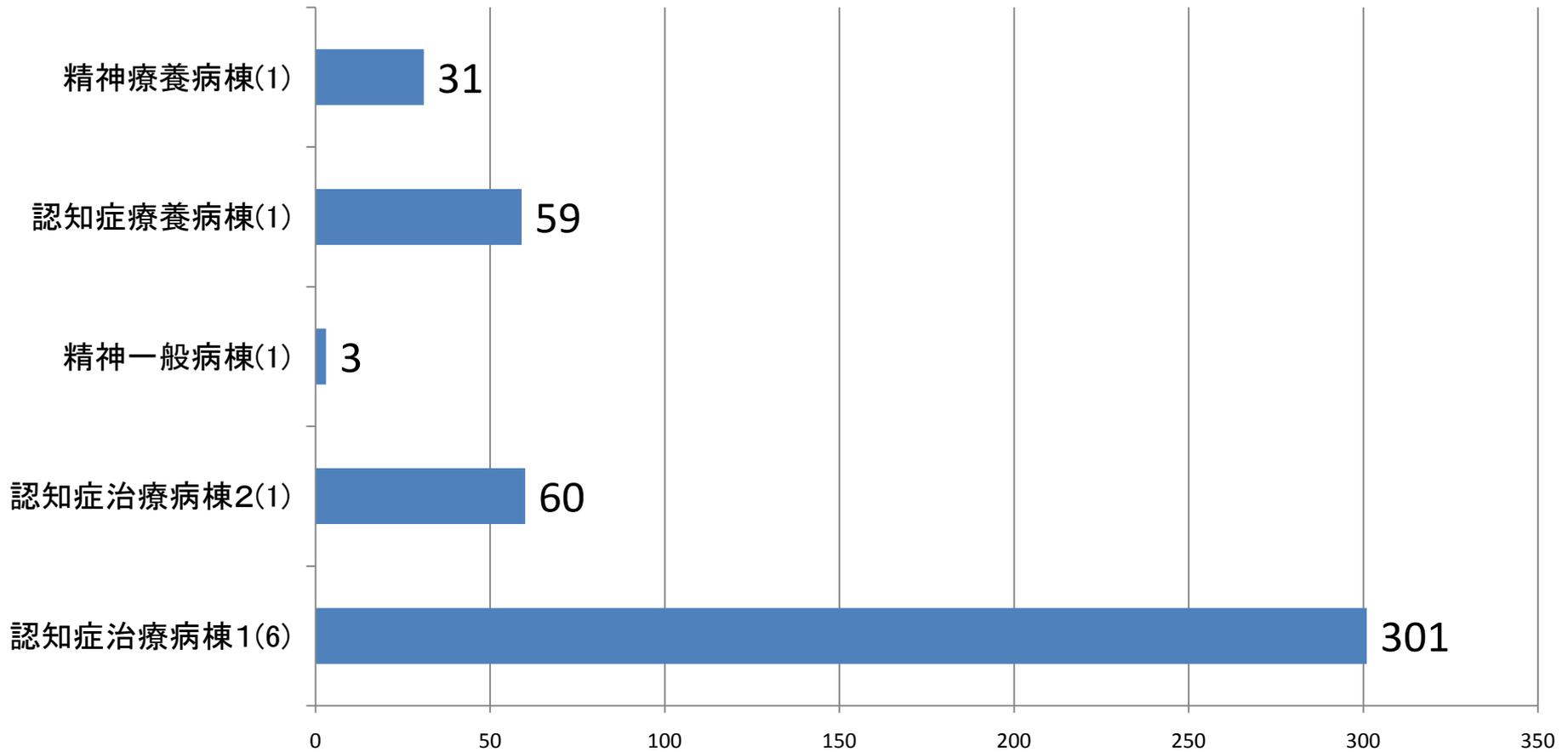
- (1) 調査期間 平成22年9月27日～10月4日（調査日：平成22年9月15日現在）
- (2) 調査方法 調査票によるアンケート方式
- (3) 回答者 調査対象病棟の病棟師長（適宜、担当医や精神保健福祉士等と相談）

4 調査項目

病棟概要、精神症状等の状況、身体合併症の状況、必要となる居住先・支援等

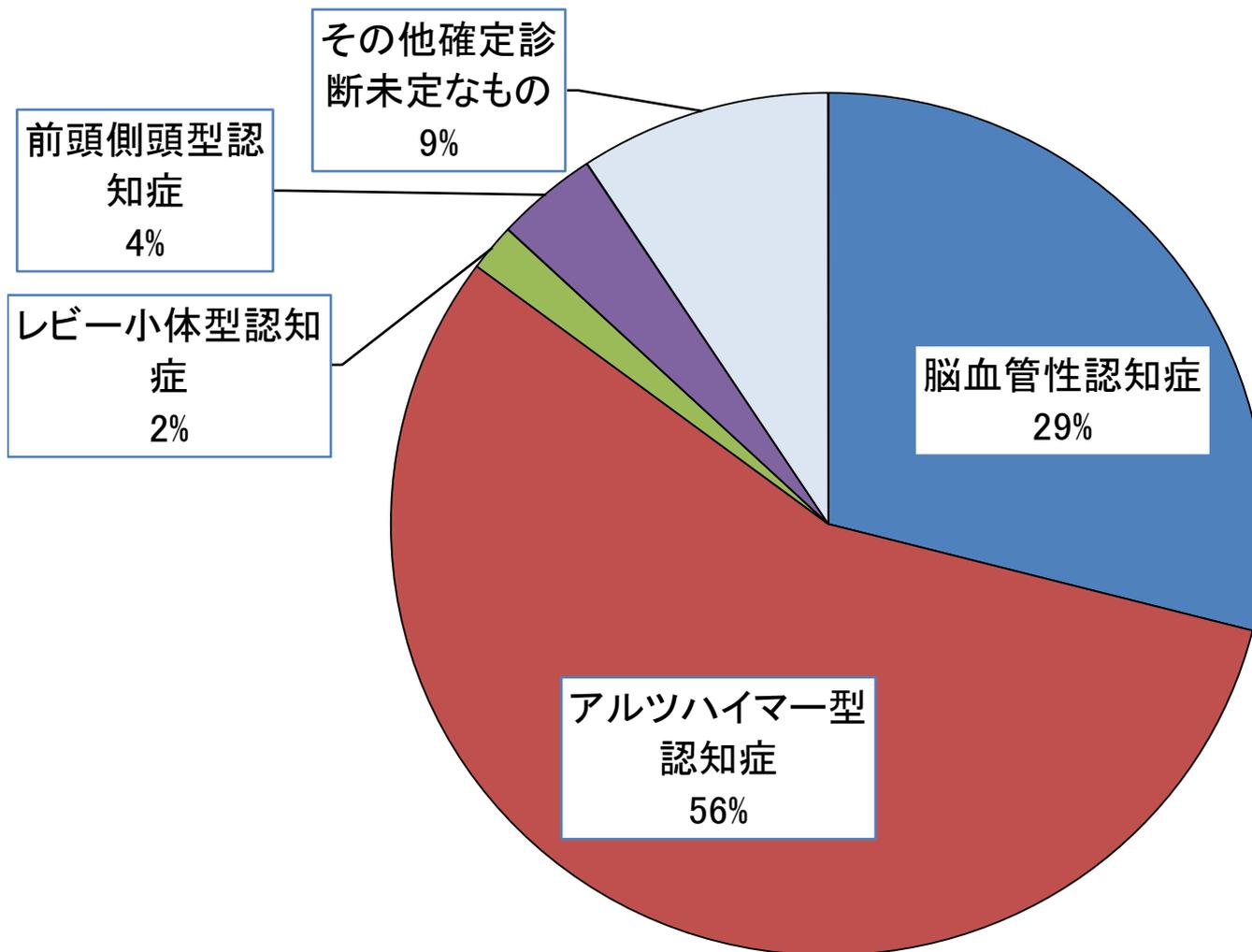
病棟種類別対象患者数(人)

計 454人



問1 認知症の診断名

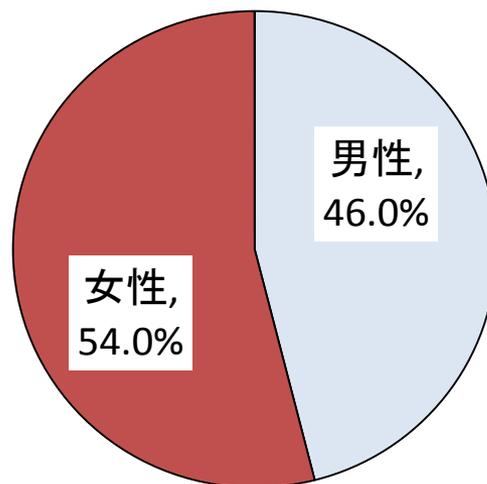
(N=452)



問2 平均年齢

78.3歳

問3 性別



問4 平成22年9月15日現在の平均在院日数

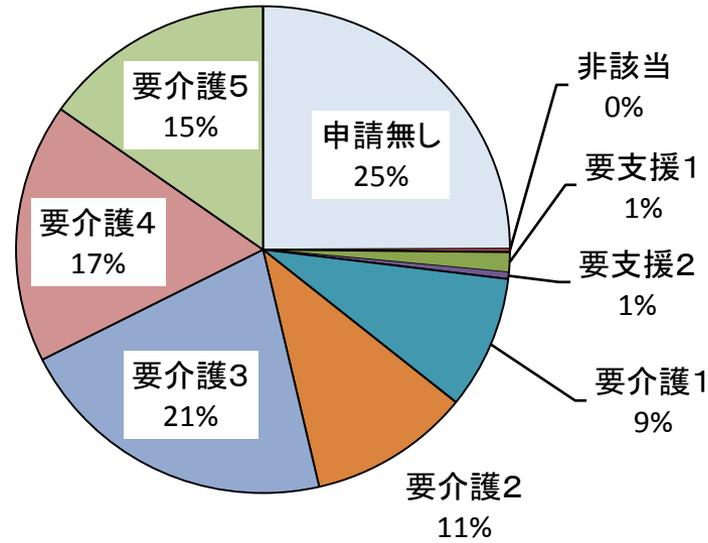
944.3日 (中央値 336日)
(N=452)

問5 改訂長谷川式簡易知能評価スケール(HDS-R)

7.2点
(N=452)

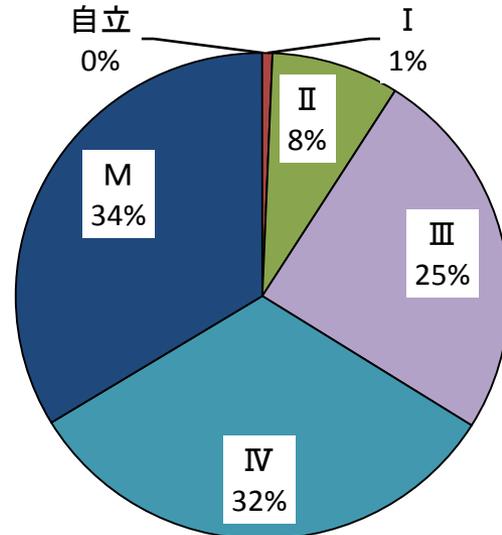
問6 要介護認定

(N=453)



問7 認知症高齢者の日常生活自立度

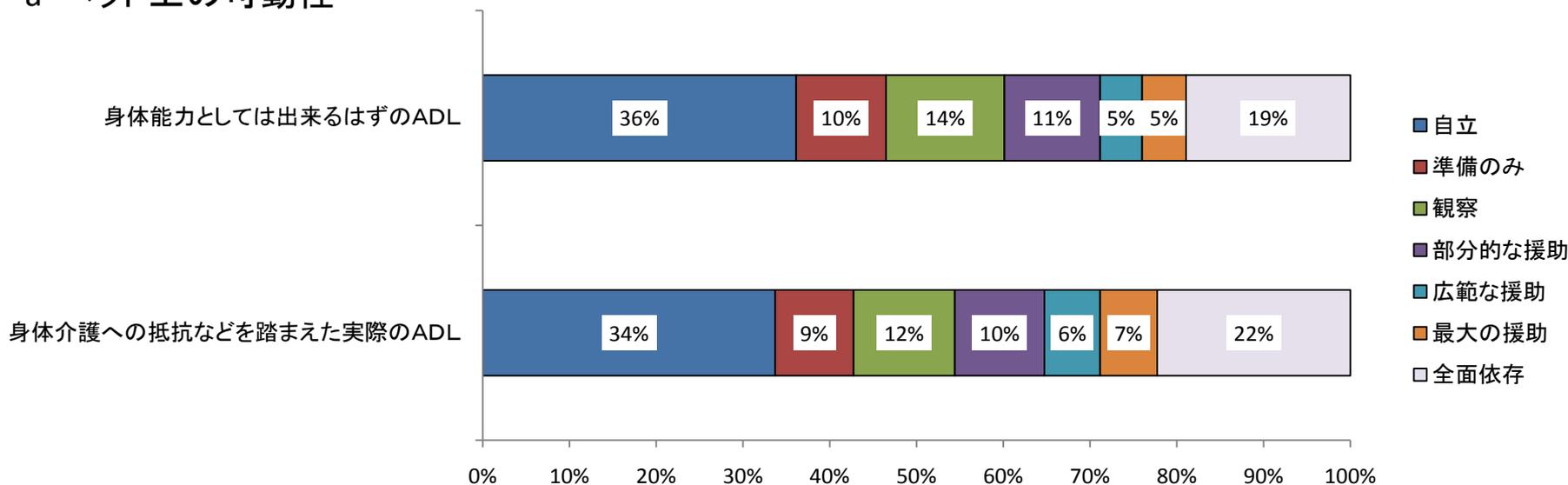
(N=452)



問9 調査日から過去3日間のADLについて

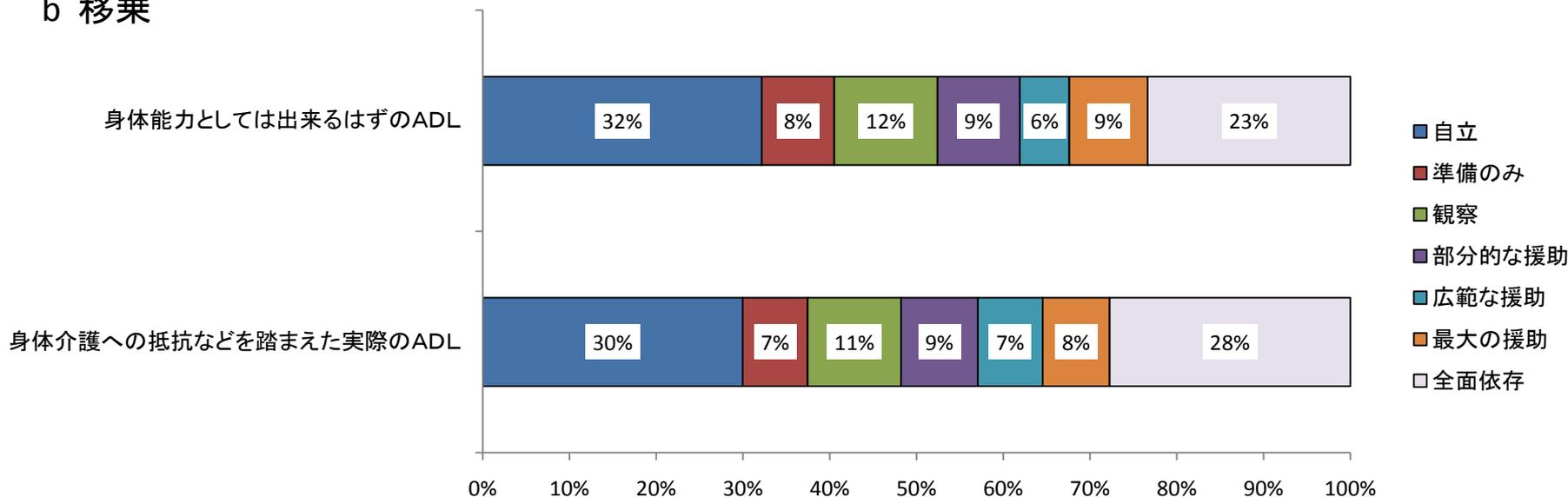
(N=454)

a ベッド上の可動性



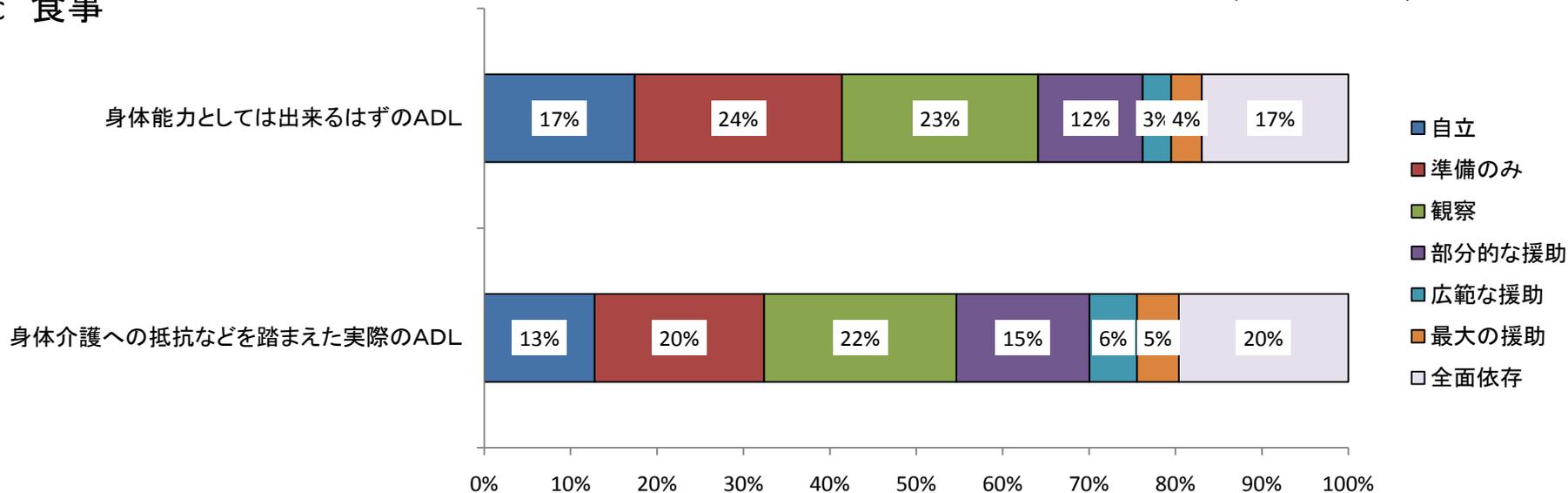
(N=454)

b 移乗



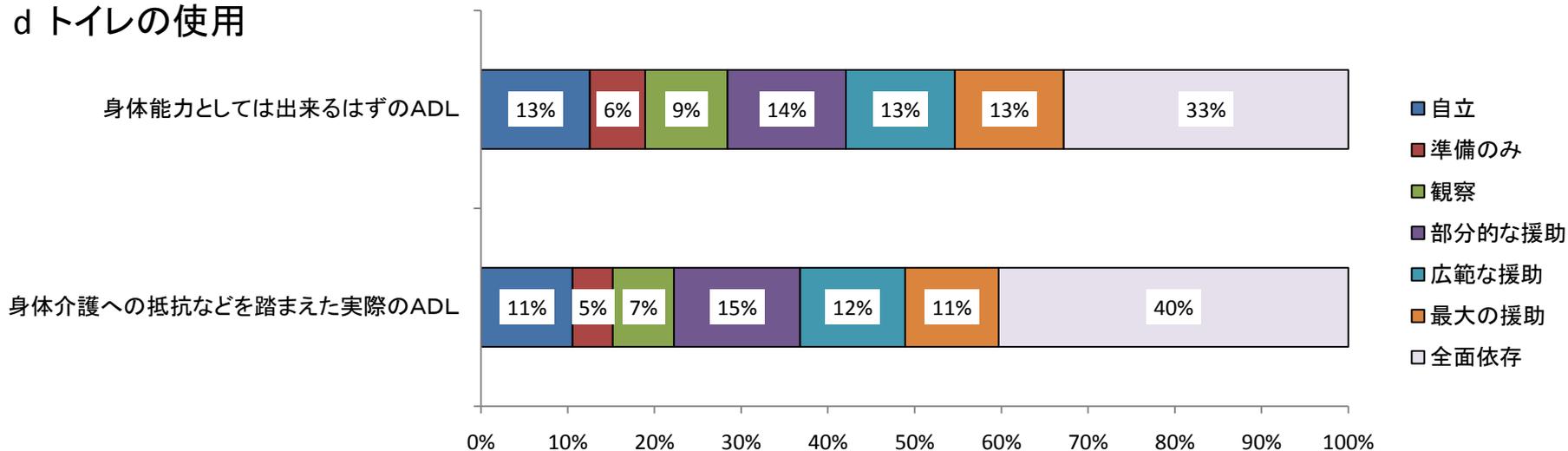
c 食事

(N=454)



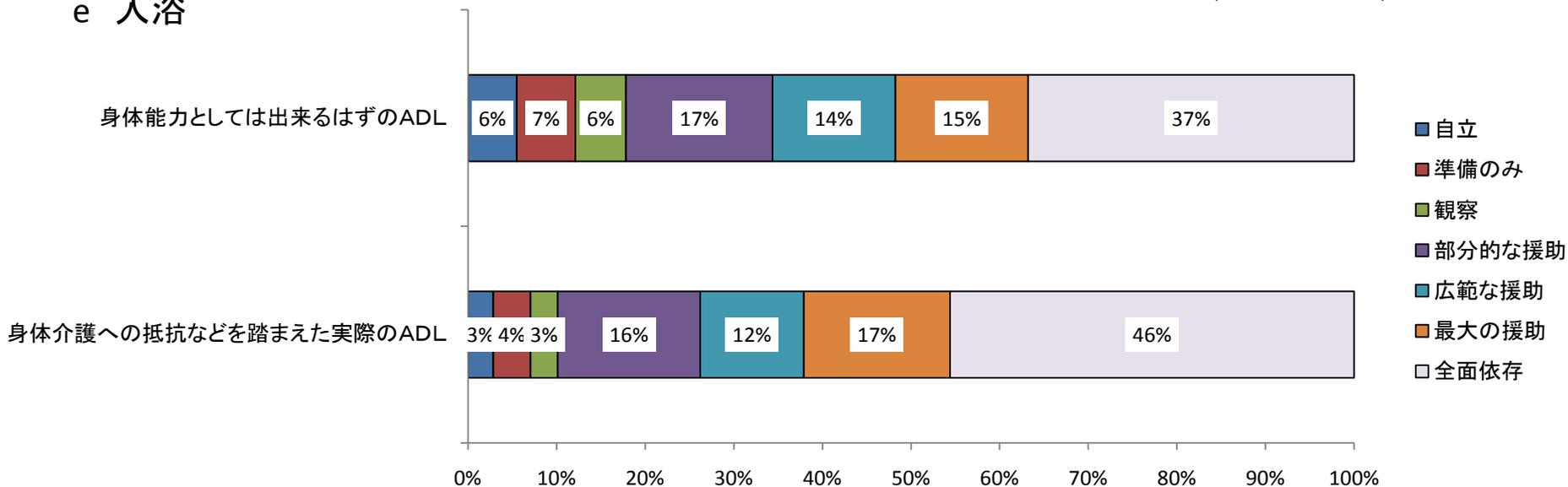
(N=454)

d トイレの使用



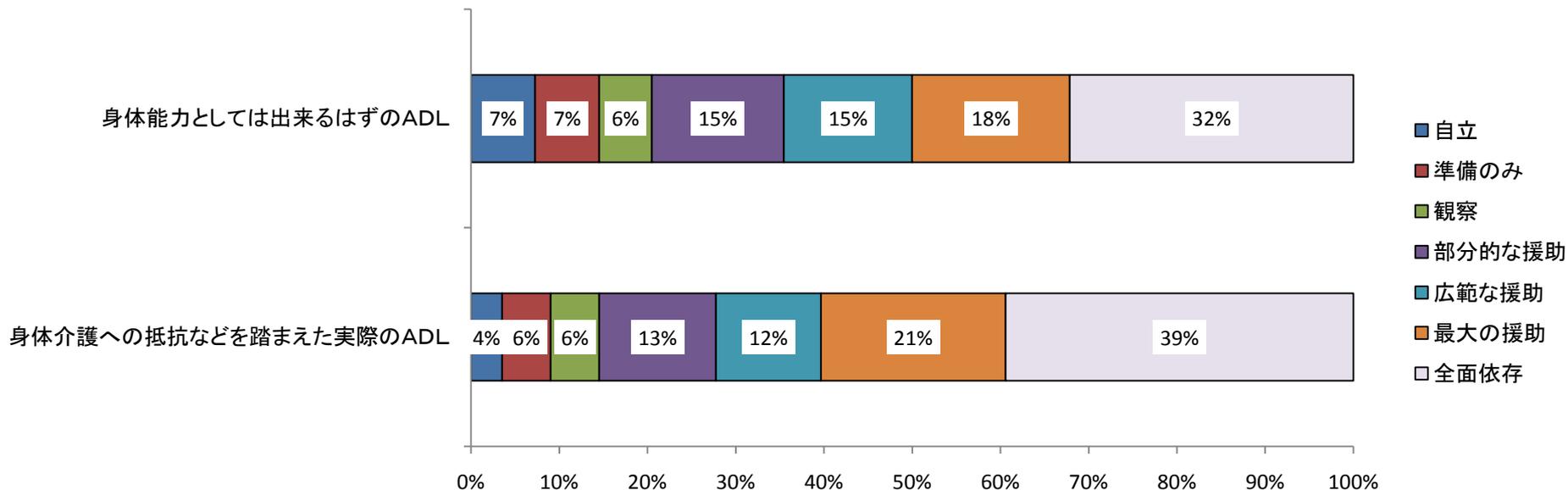
e 入浴

(N=454)

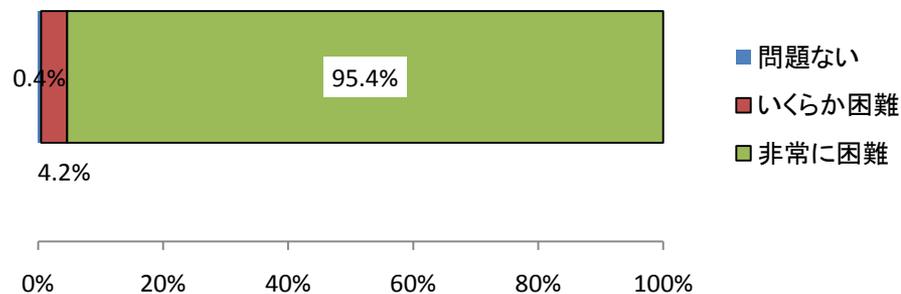


f 衣服の着脱

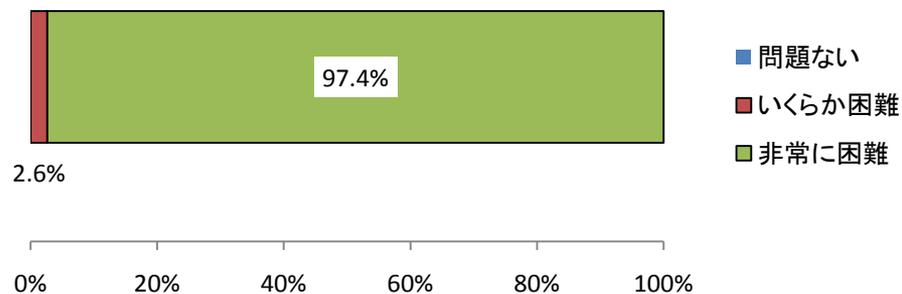
(N=454)



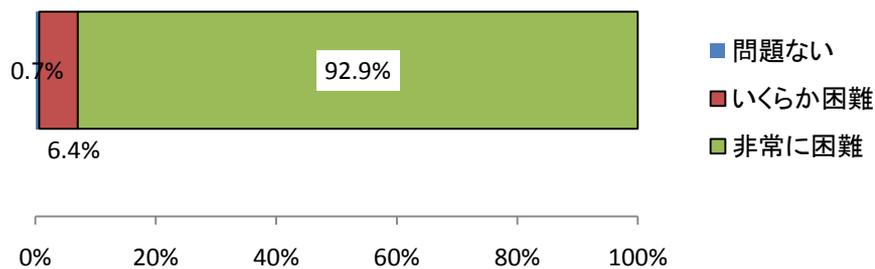
食事の用意



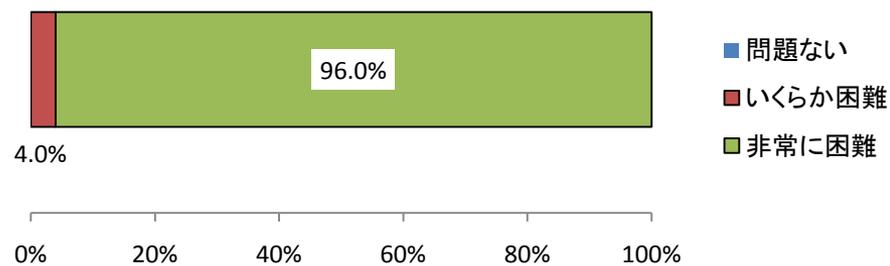
金銭管理



家事一般

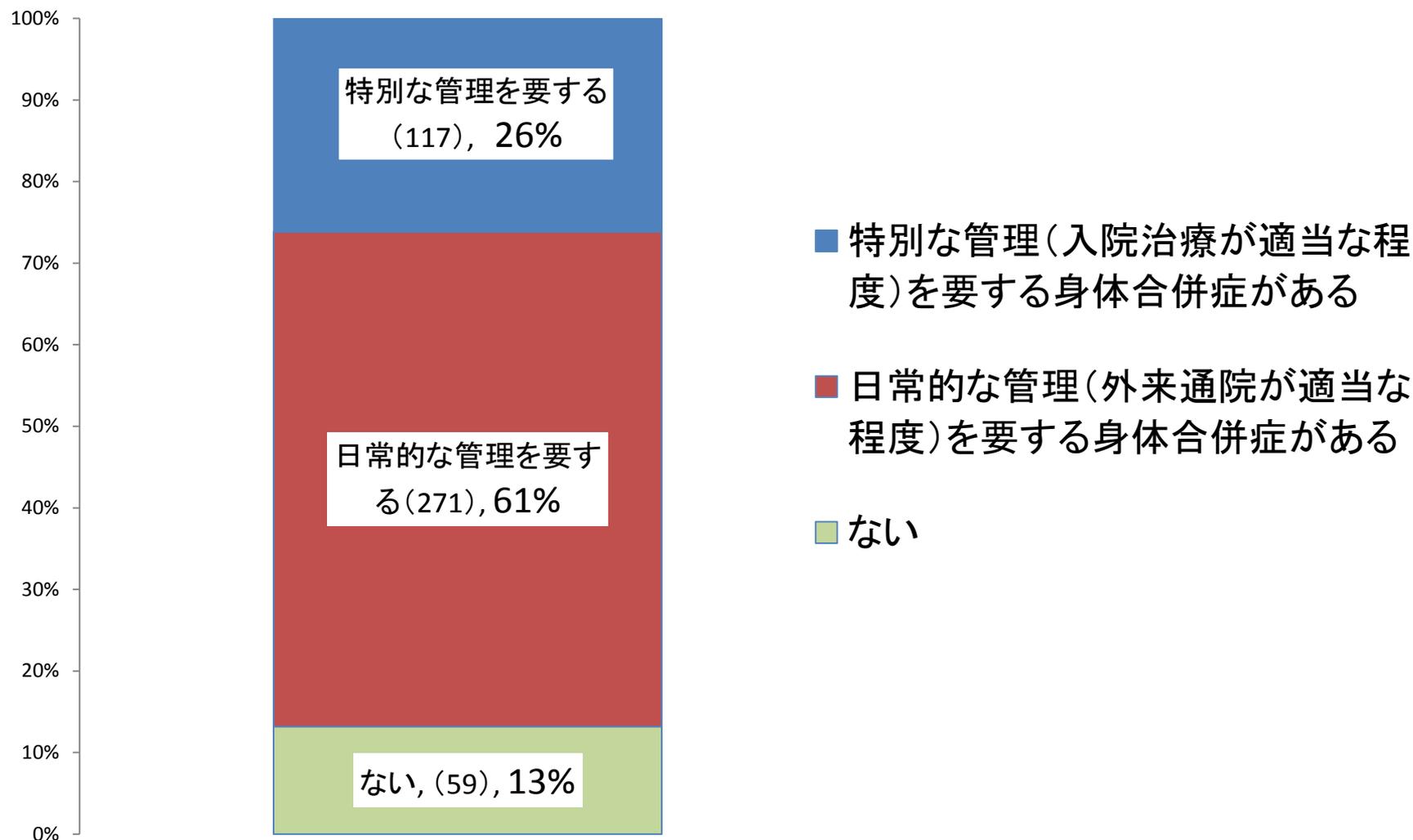


薬の管理

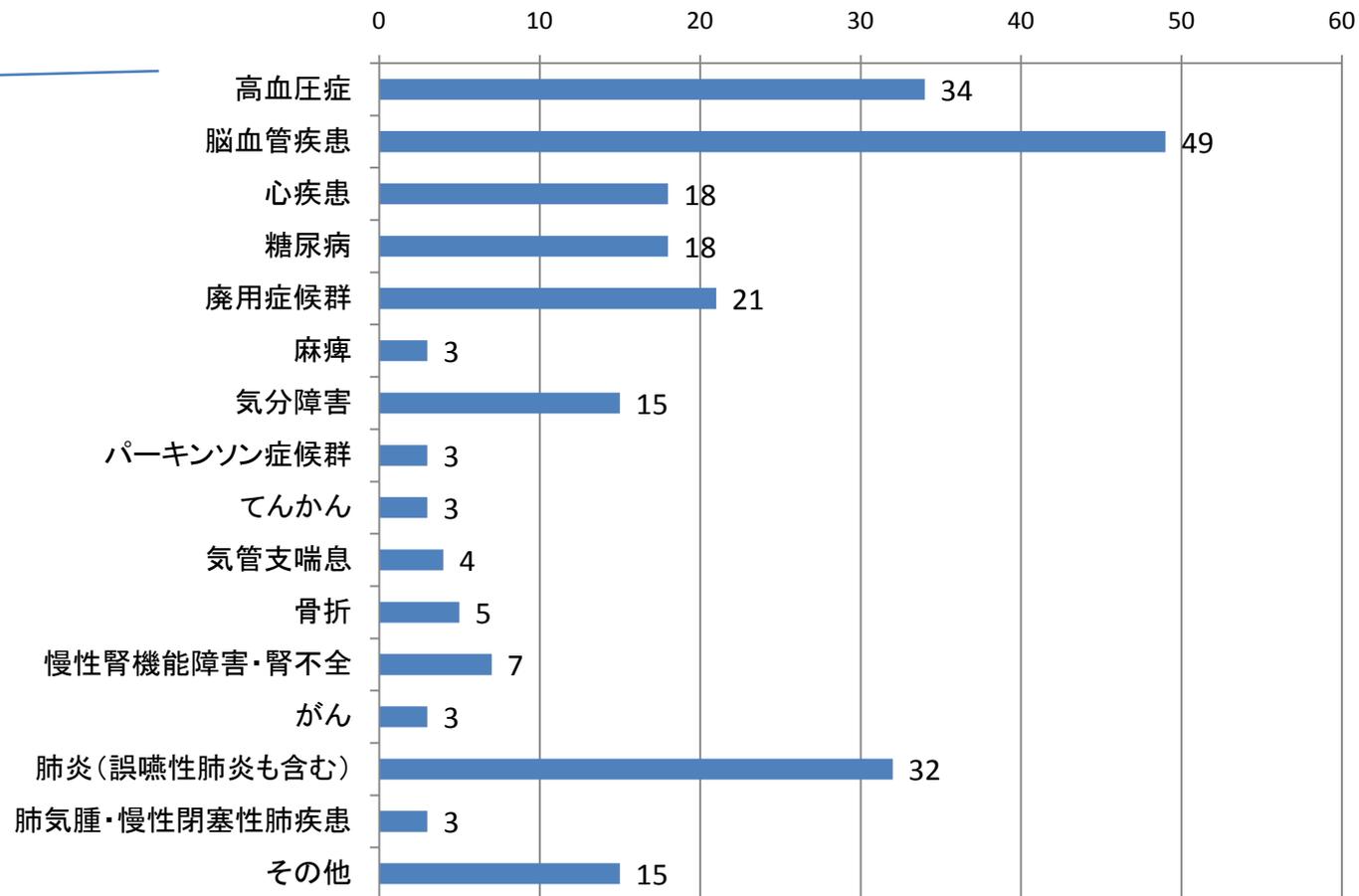


問11 調査日における対象者の、認知症以外の合併症について

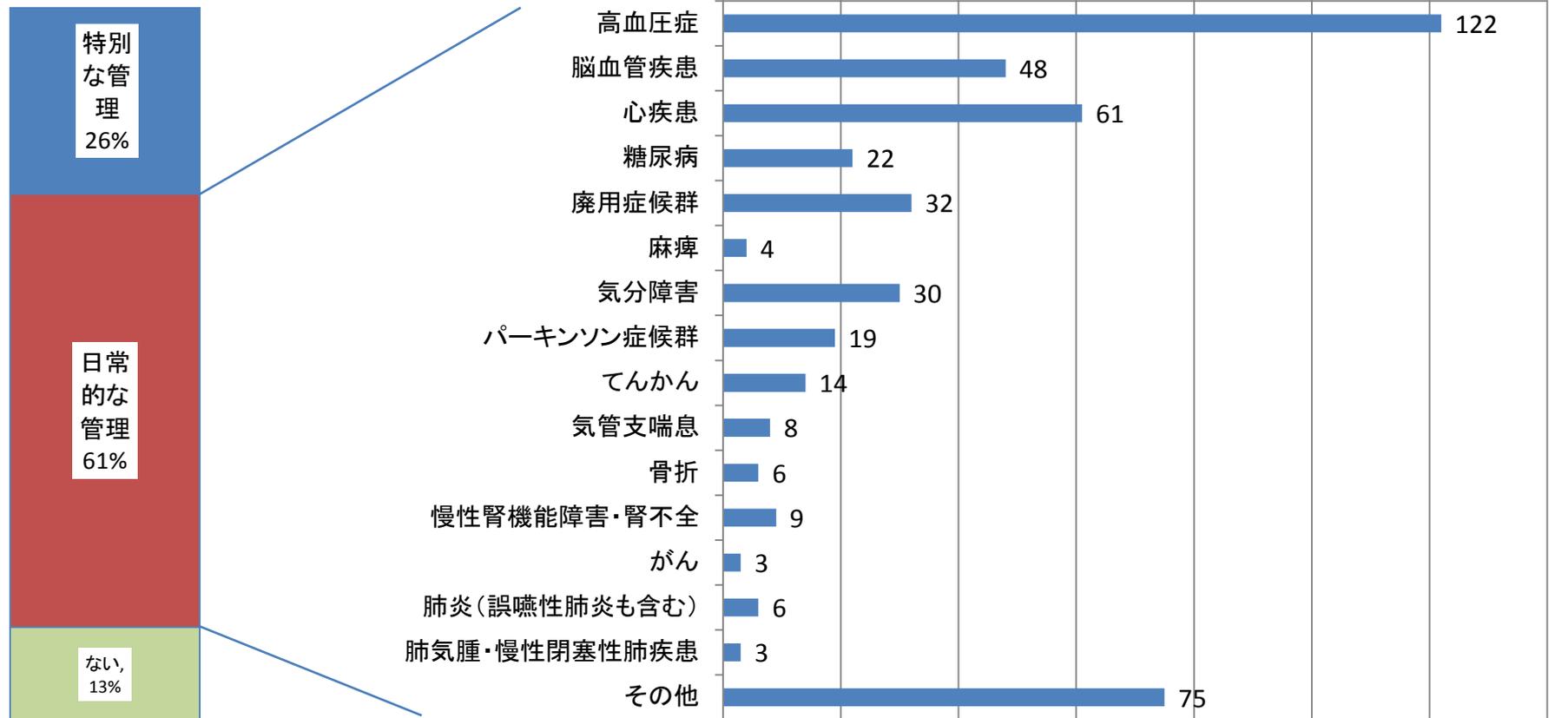
(N=447)



(複数回答可) (N=117)



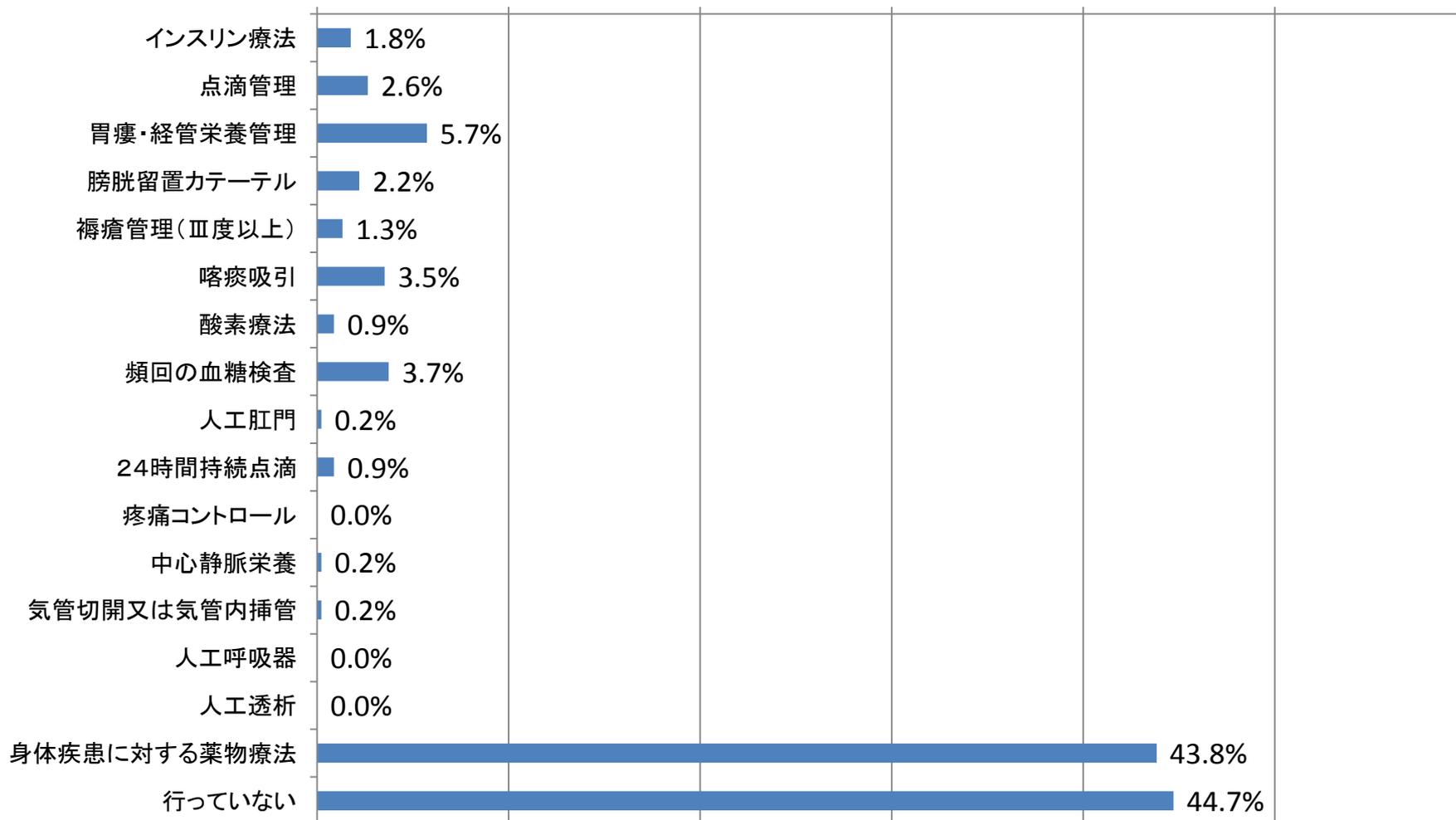
(複数回答可) (N=271)



問12 調査日における対象者に行っている身体的管理

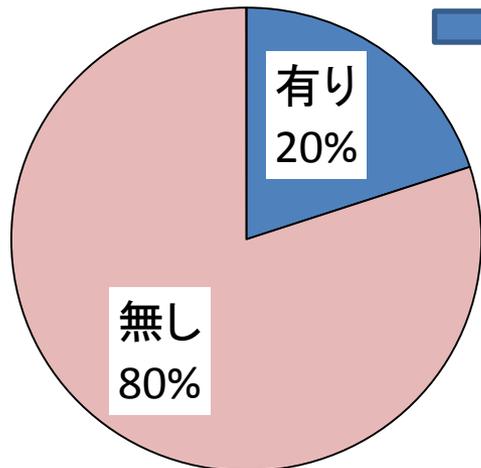
(複数回答可) (N=454)

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0% 50.0% 60.0%



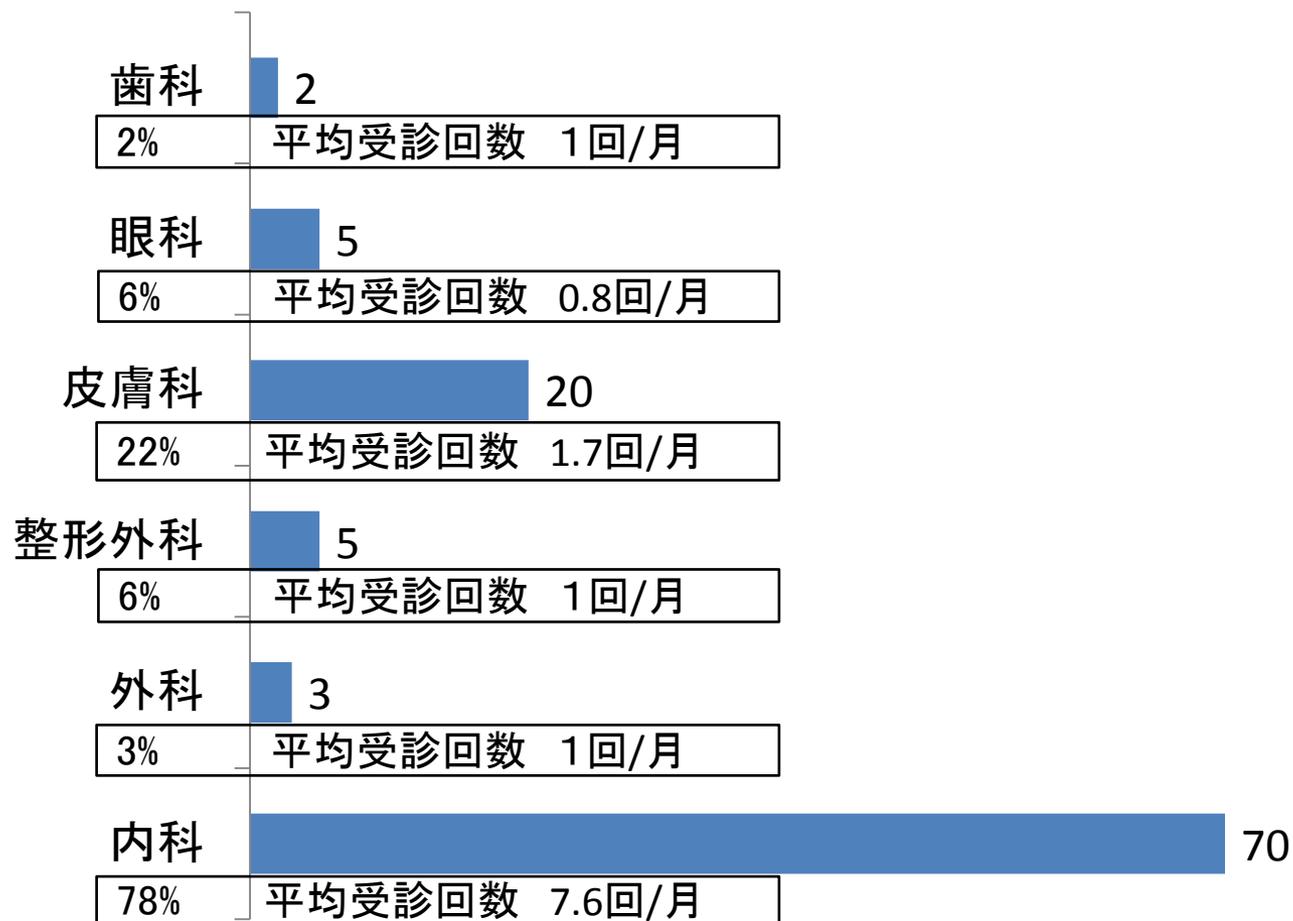
問13 過去1ヶ月間の他科受診の有無

(N=451)



問13-1 他科受診の回数

(複数回答可) N=90

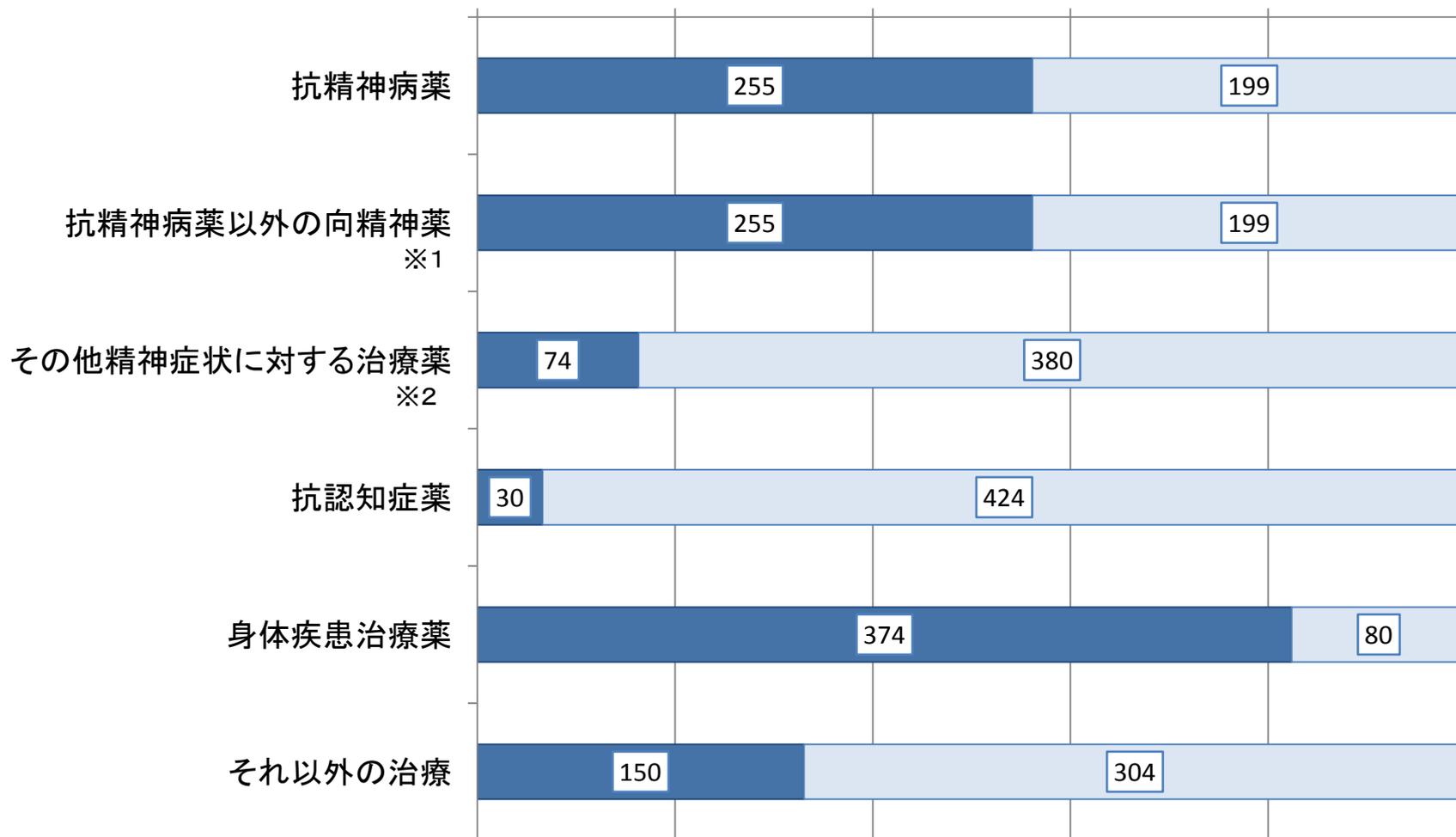


問14 調査日から過去1週間に使用した薬物の有無

(N=454)

■ 有り □ 無し

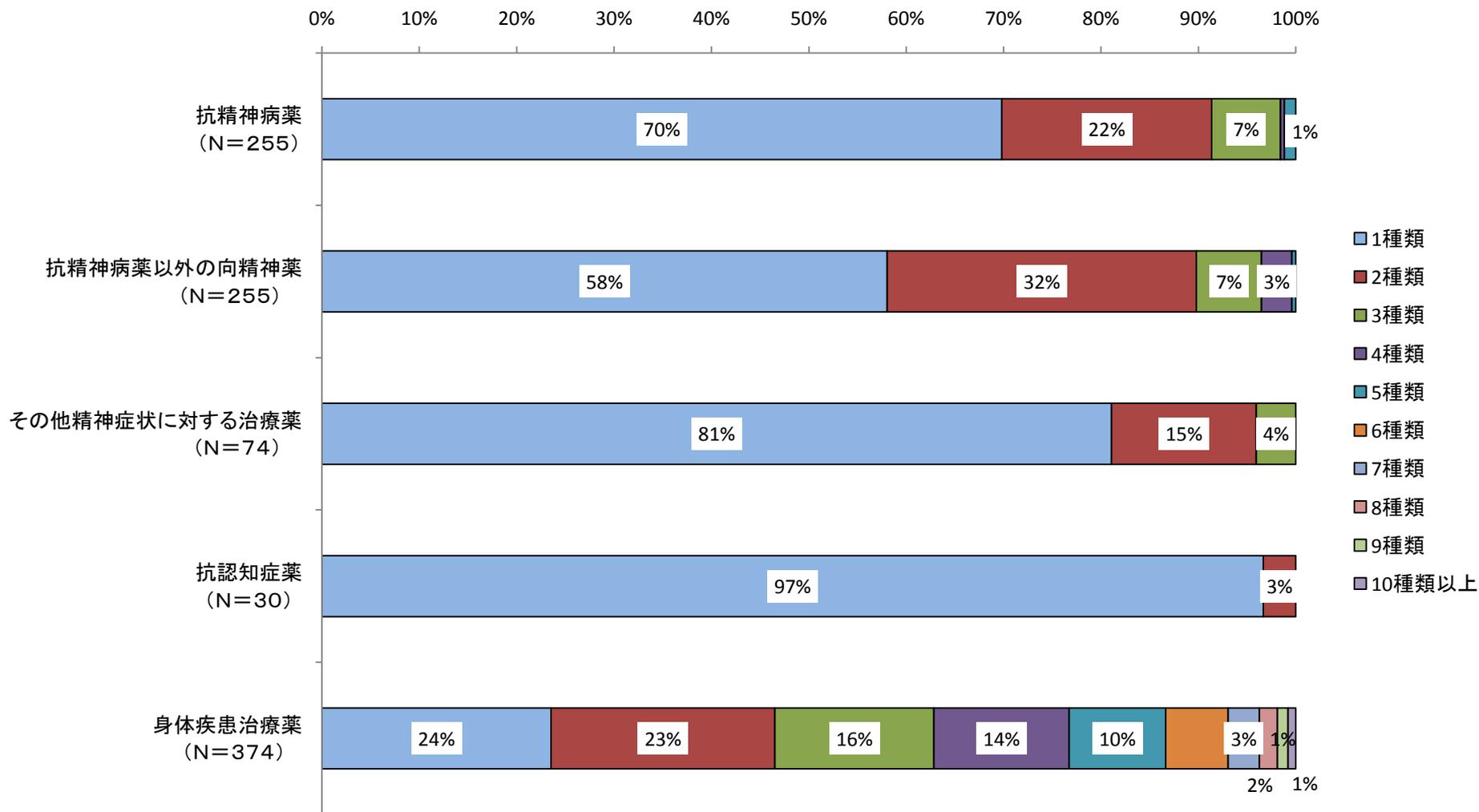
0% 20% 40% 60% 80% 100%



※1 抗精神病薬以外の向精神薬・・・抗不安薬、睡眠薬、抗うつ薬、抗てんかん薬

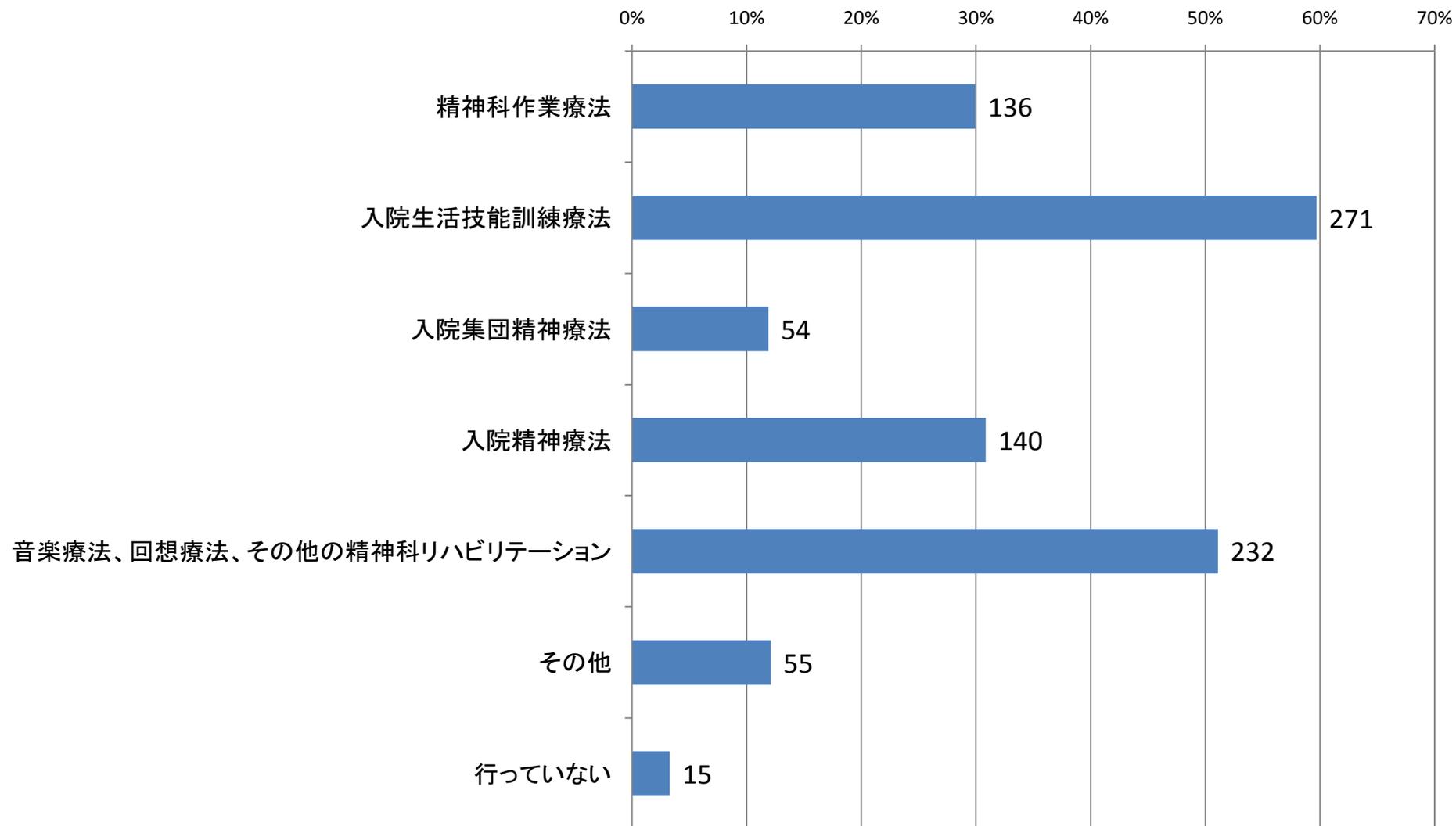
※2 その他の精神病上に対する治療薬・・・漢方薬など

問14-1 調査日から過去1週間に使用した薬物の種類数



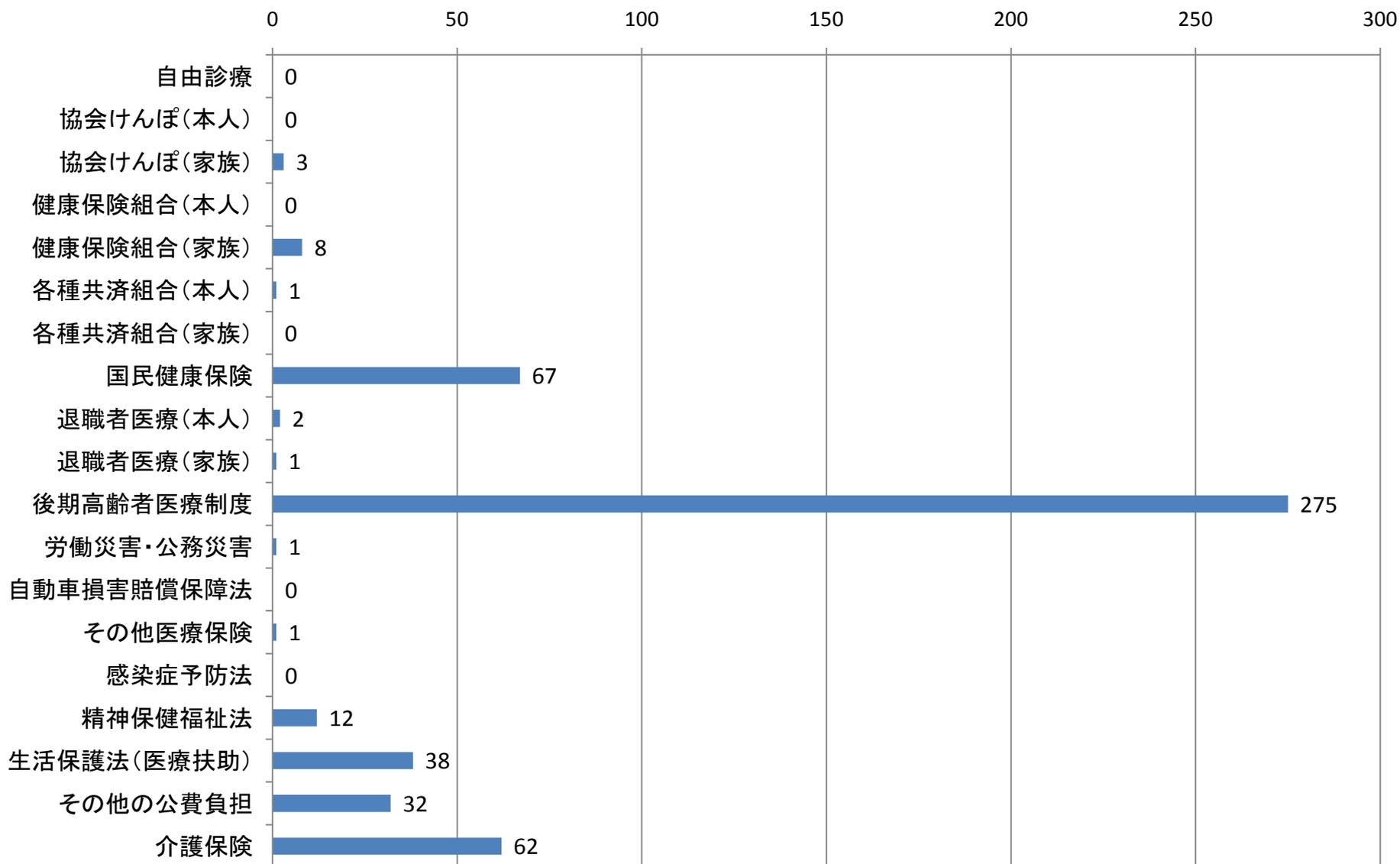
問14-2 過去1ヶ月間に行った精神科専門療法

(複数回答可)(N=454)



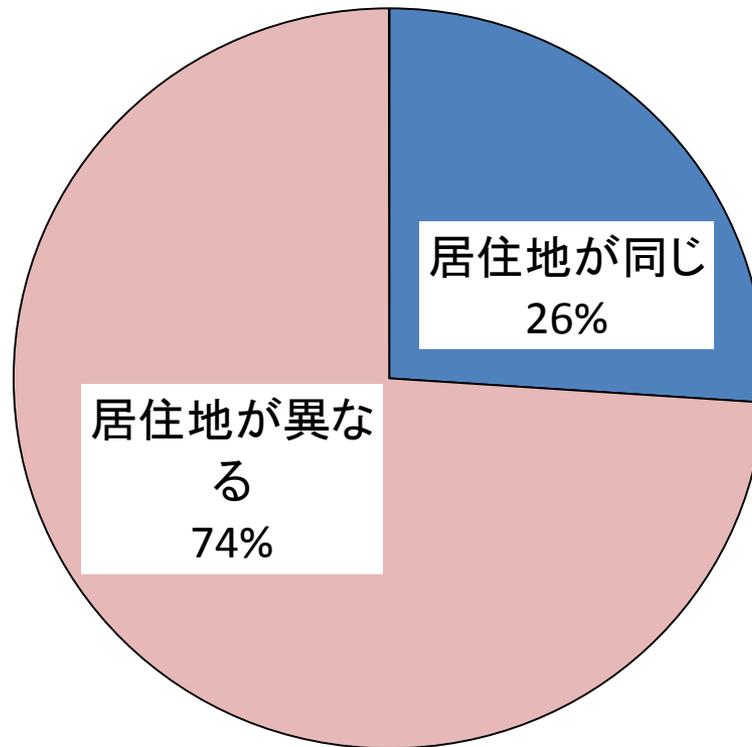
問15 診療費等支払い方法

(複数回答可) (N=454)



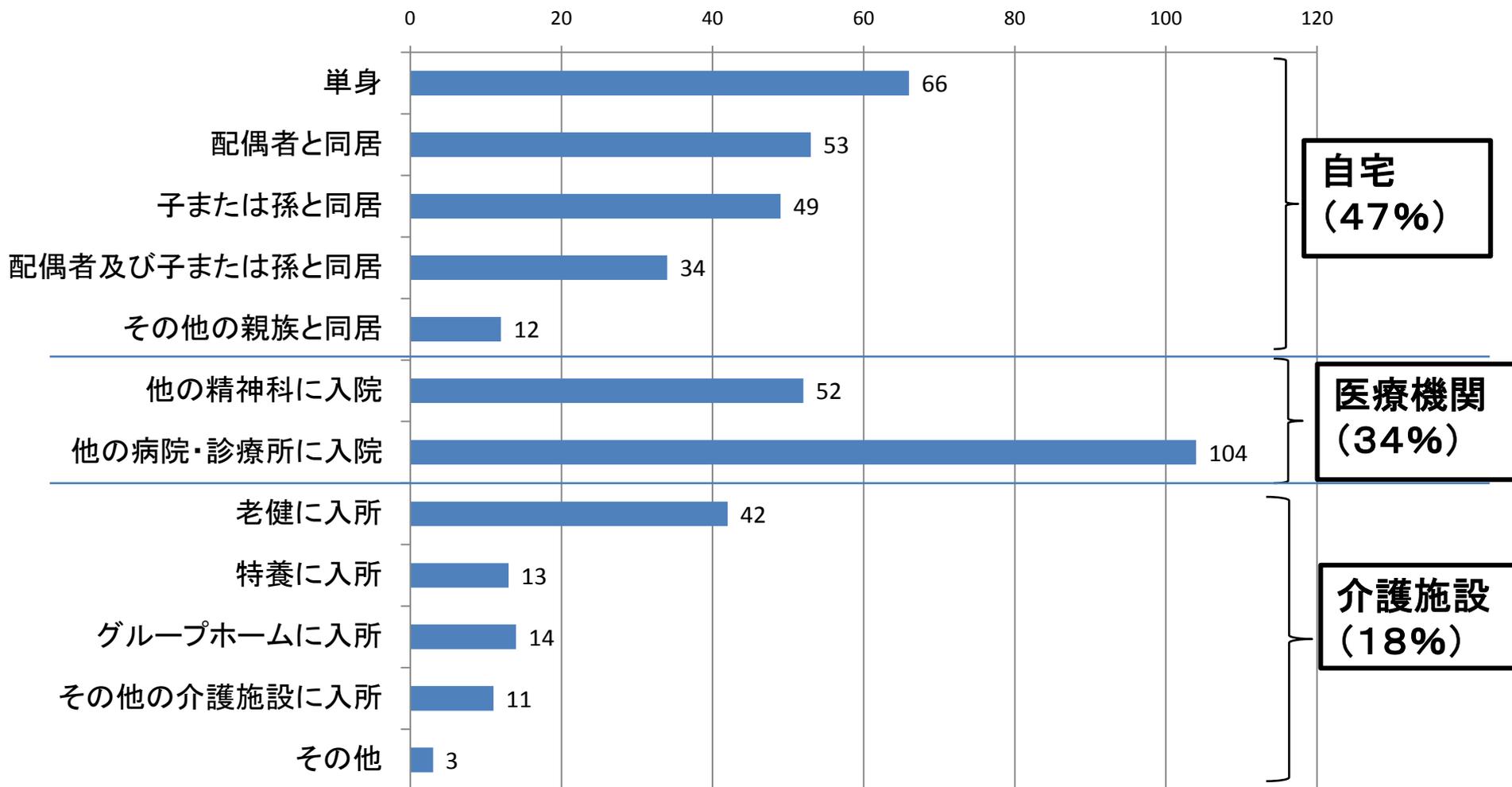
問16 病院の所在市町村と患者居住地が同じか

(N=453)



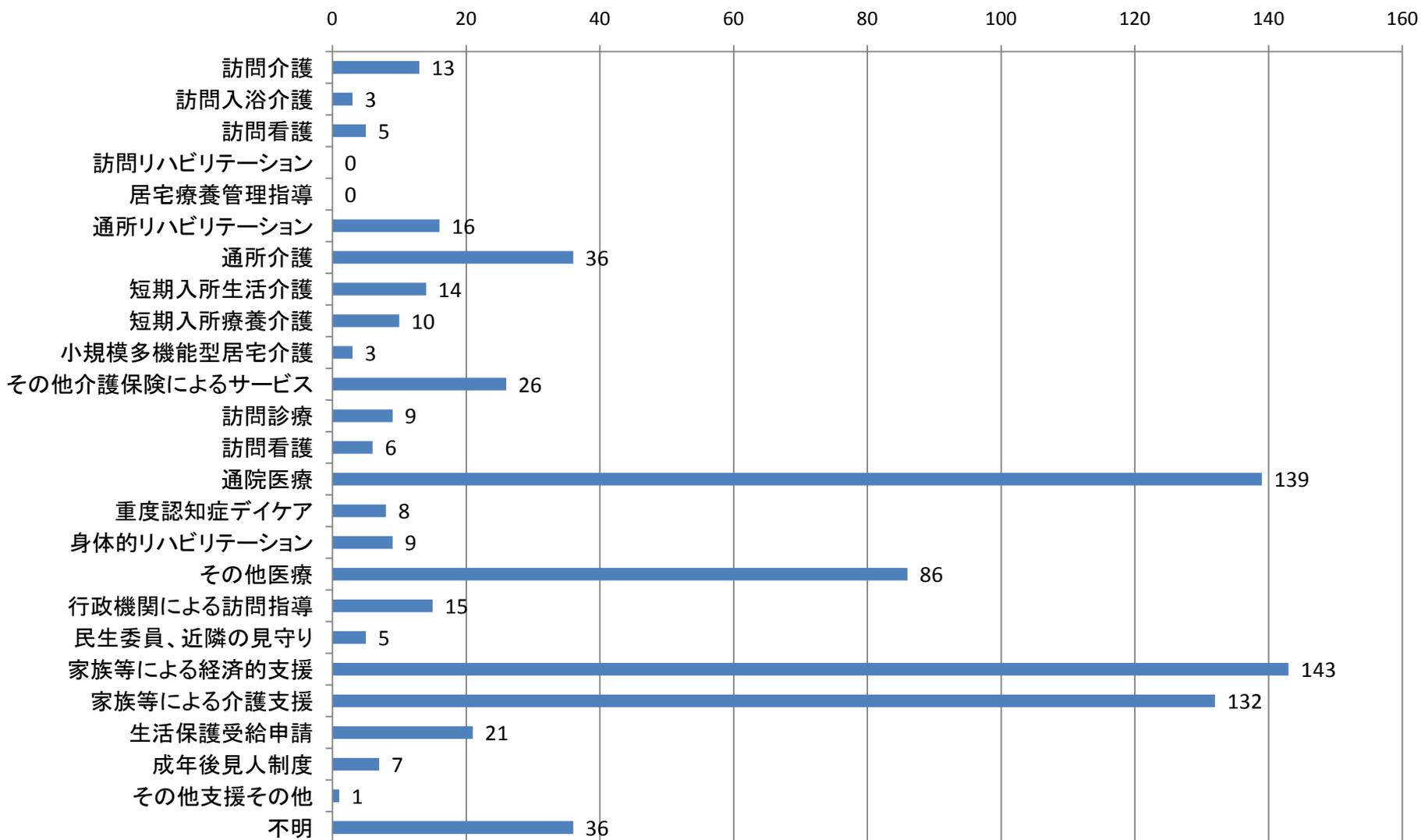
問17 対象者の入院前の状況

(N=453)



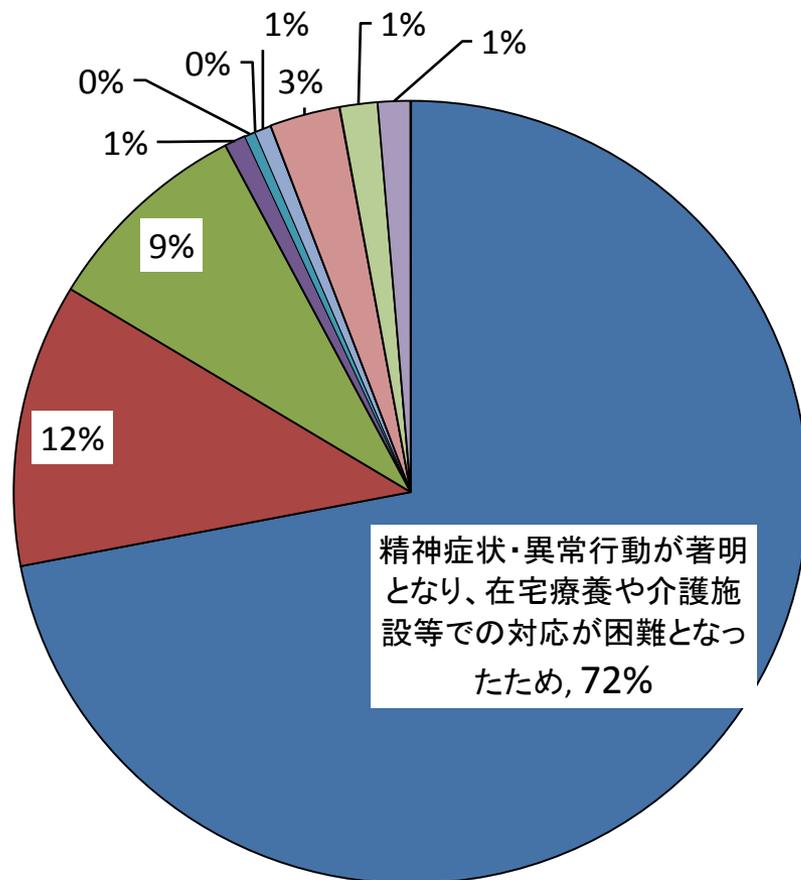
問18 入院直前の介護サービス、医療、その他の支援の利用状況

(複数回答可) (N=453)



問19 入院の理由

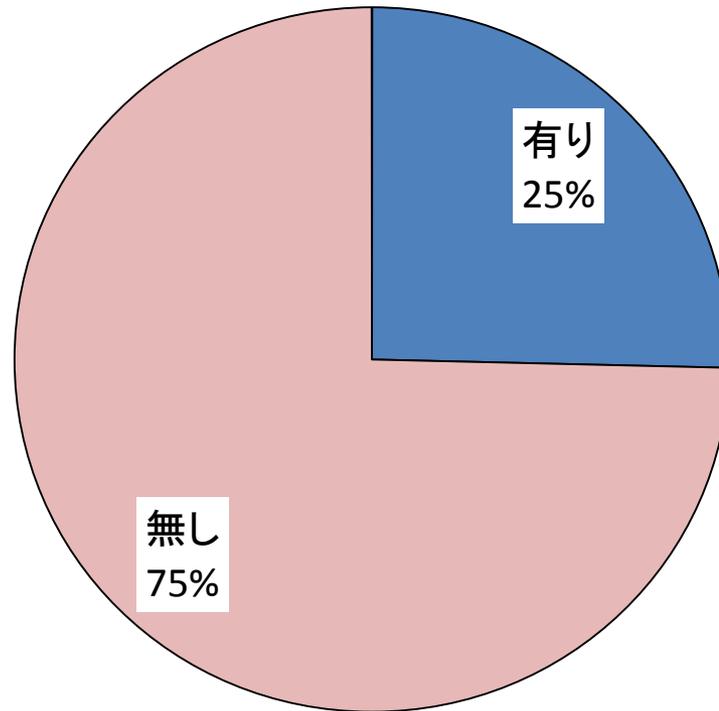
(N=453)



- 精神症状・異常行動が著明となり、在宅療養や介護施設等での対応が困難となったため
- 精神科以外の医療施設で身体合併症の治療を行っていたが、精神症状・異常行動が著明となり治療継続ができなくなったため
- 身体疾患の急性期状態が安定し、精神症状の加療が必要なため
- 精神症状は安定しており、精神科以外の医療施設や介護施設等でも対応できると思われるが、適切な施設に空きがなかったため
- 精神症状は安定しており、精神科以外の医療施設や介護施設等でも対応できると思われ、適切な施設に空きはあったが、医療介護サービスの対応が困難と言われたため
- 精神症状は安定しており、在宅療養でも対応できるが、必要な在宅医療が確保できないため
- 精神症状は安定しており、在宅療養でも対応できるが、必要な在宅介護サービスが確保できないため
- 精神症状は安定しており、在宅療養でも対応できるが、家族の介護困難、又は介護者不在のため
- 上記以外で、家族等が強く希望するため
- その他

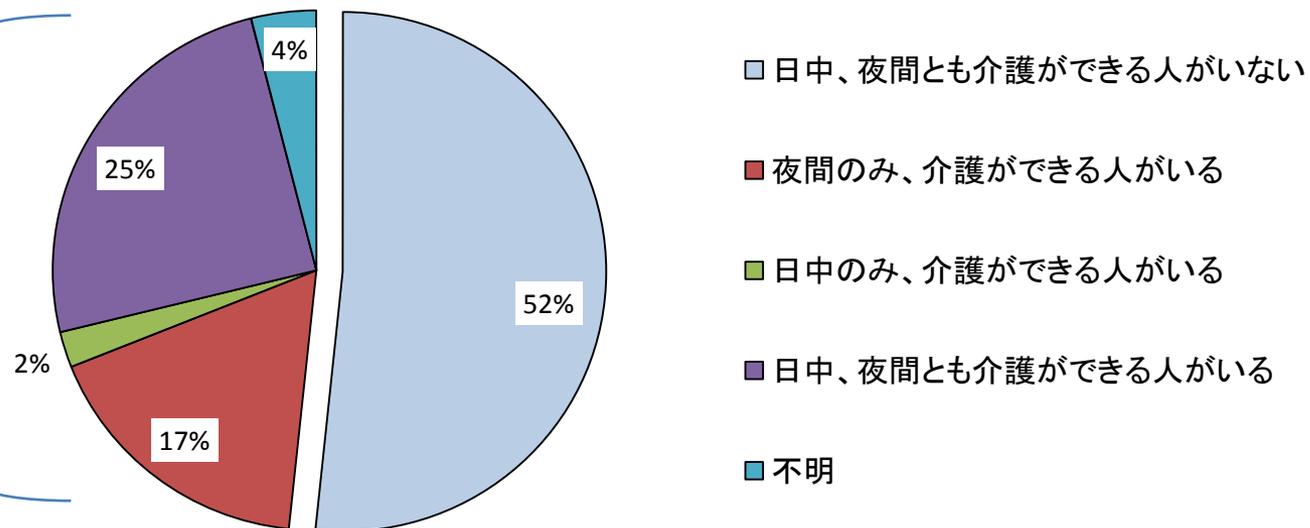
問20 対象者の地域との関わり合い(身近に気軽に相談できる相手がいるなど)

(N=453)



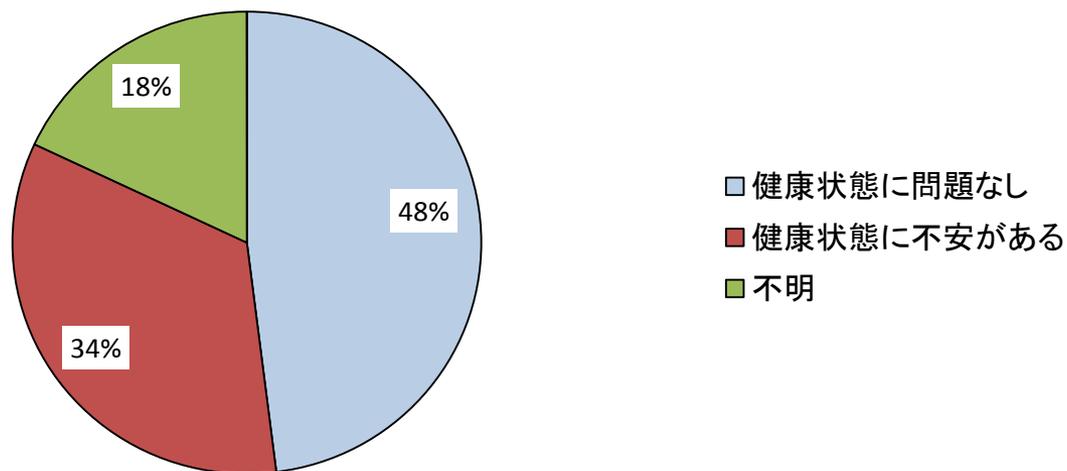
問21 自宅での介助者の有無

(N=451)



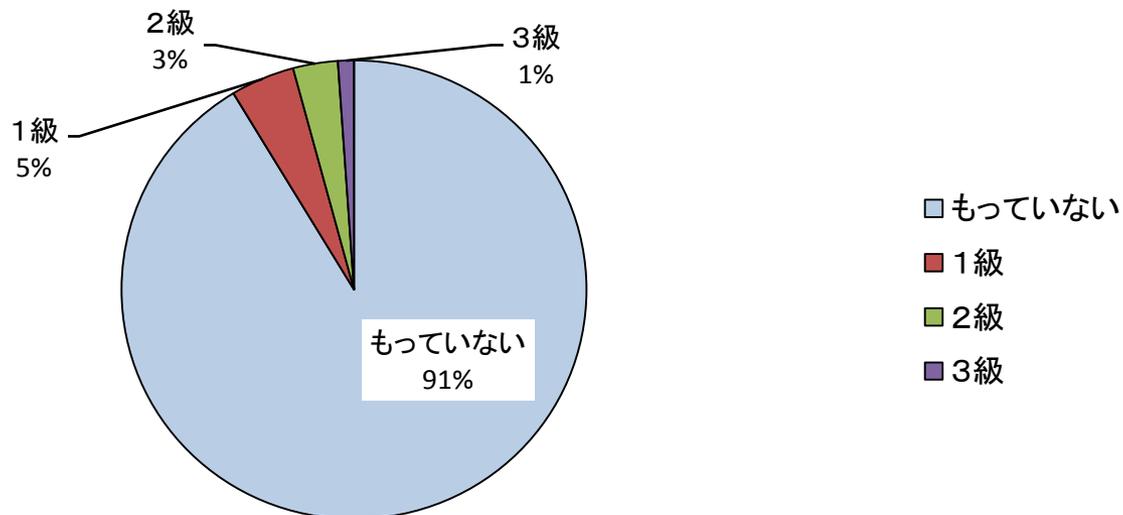
付問21-2 介護者がいる場合、介護者の健康状態

(N=200)



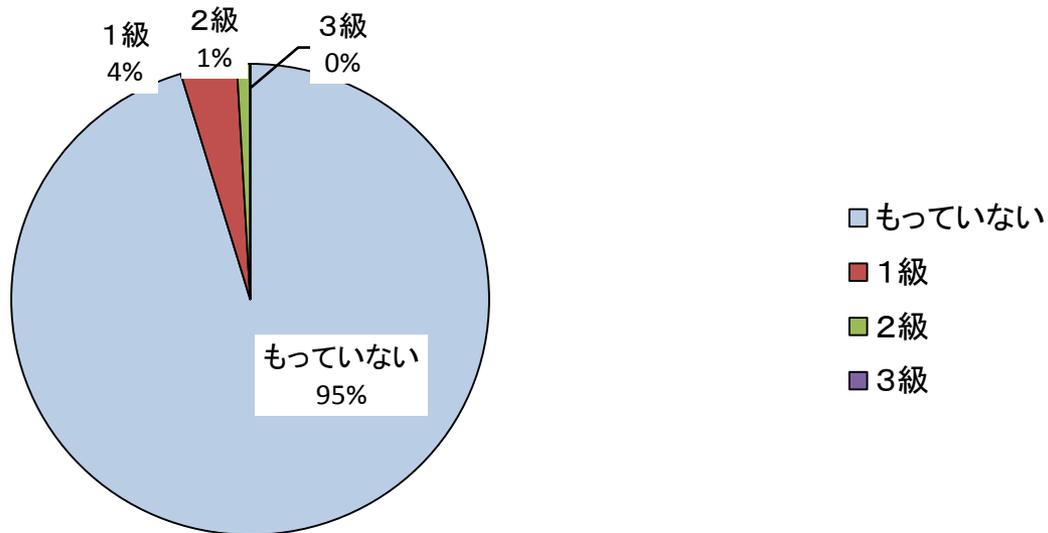
問22 身体障害者手帳

(N=450)



問23 精神障害者保健福祉手帳

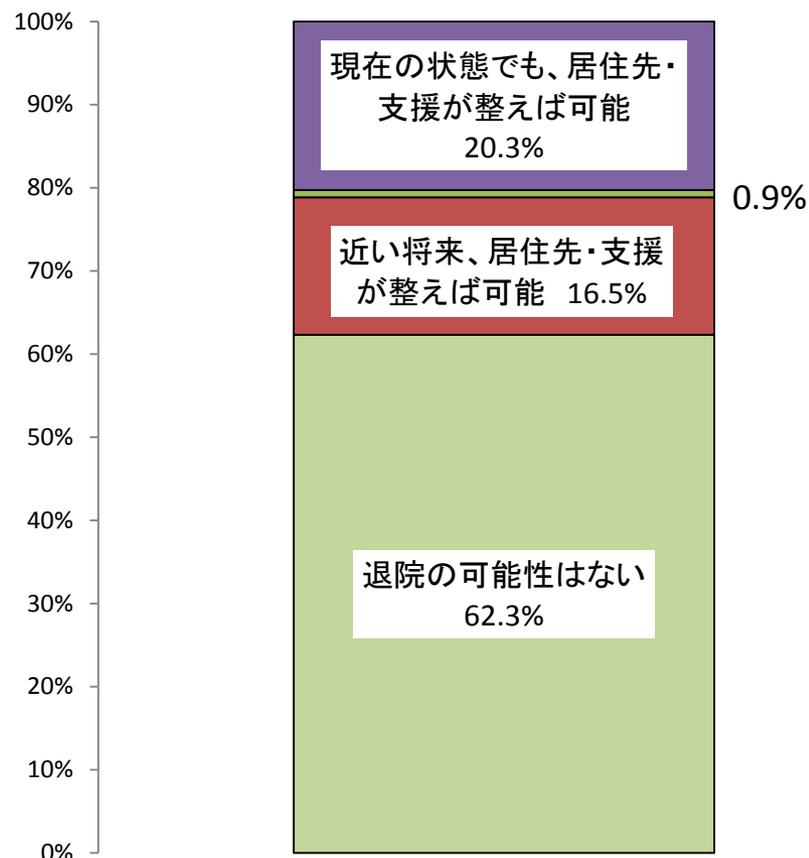
(N=448)



問24 居住先・支援が整った場合の退院の可能性

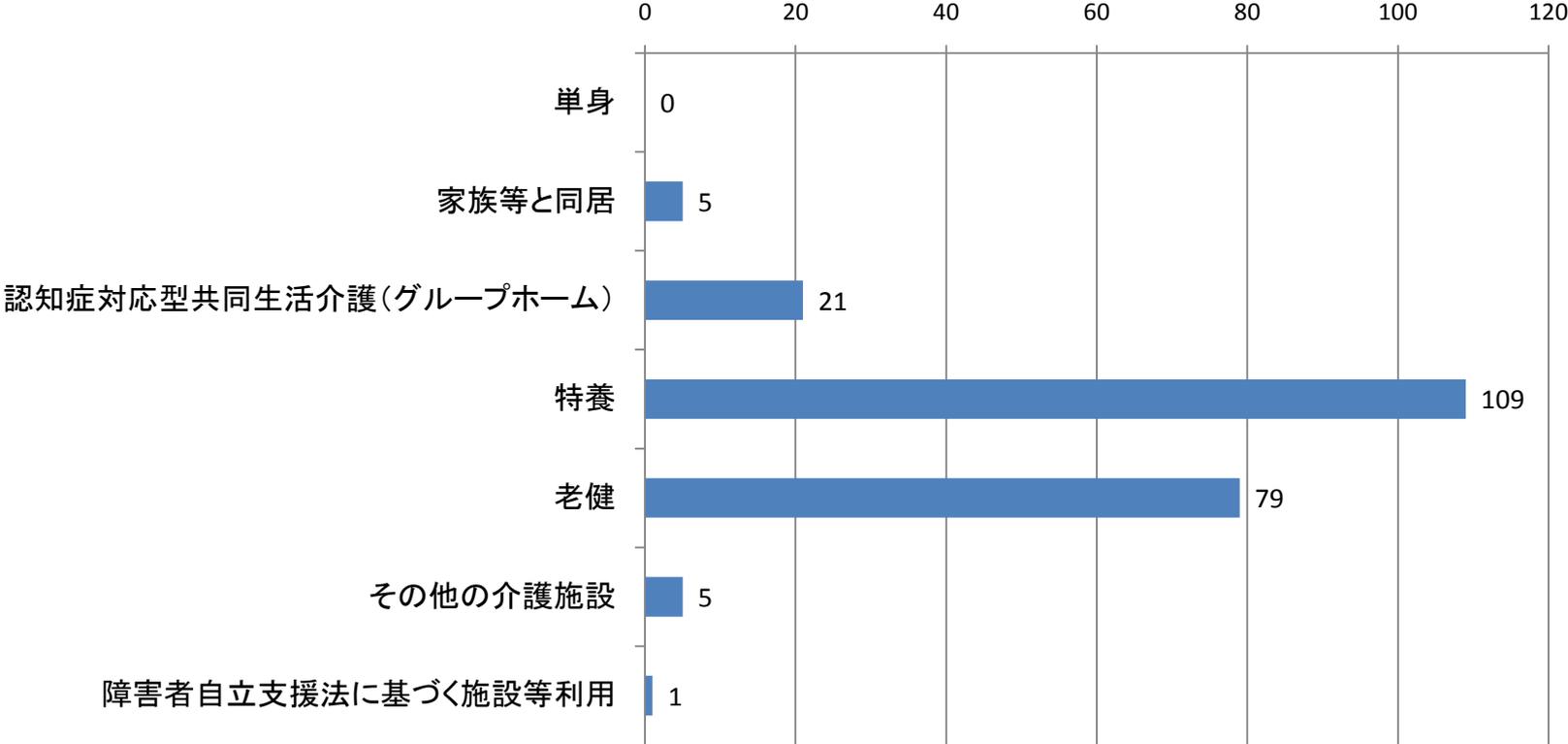
(N=454)

- 1. 現在の状態でも、居住先・支援が整えば退院は可能
- 2. 状態の改善が見込まれるので、居住先・支援などを新たに用意しなくても近い将来(6ヶ月以内)には退院が可能になる
- 3. 状態の改善が見込まれるので、居住先・支援が整えば近い将来(6ヶ月以内)には可能になる
- 4. 状態の改善が見込まれず、居住先・支援を整えても近い将来(6ヶ月以内)の退院の可能性はない



問25 問24で1,あるいは3と回答した人のうち、退院出来ると仮定した時、適切と考えられる「生活・療養の場」
 (複数回答可) (N=167)

単身	0	0.0%
家族等と同居	5	3.0%
認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	21	12.6%
介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	109	65.3%
介護老人保健施設(老健)	79	47.3%
その他の介護施設(有料老人ホーム、軽費老人ホーム、高齢者専用賃貸住宅など)	5	3.0%
障害者自立支援法に基づく施設等利用(ケアホーム、グループホームなど)	1	0.6%



※33人は、特養と老健を重複して回答

問26 問24で1,あるいは3と回答した人のうち、退院後に必要な支援

(N=167)

1番目に必要な支援		
精神科の定期的な通院	53人	31.7%
小規模多機能型居宅介護	38人	22.8%
自宅を訪問して行われる支援	11人	6.6%
訪問診療	4人	2.4%
短期入所して行われる支援	4人	2.4%

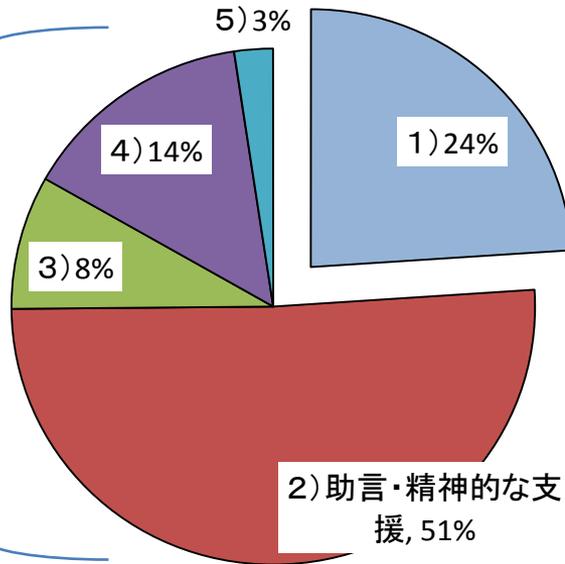
2番目に必要な支援		
身体的リハビリテーション	33人	19.8%
短期入所して行われる支援	26人	15.6%
経済的支援	23人	13.8%
訪問診療	20人	12.0%
精神科の定期的な通院	19人	11.4%

3番目に必要な支援		
自宅以外の場所に通って行われる支援	22人	13.2%
訪問診療	22人	13.2%
経済的支援	15人	9.0%
精神科の定期的な通院	12人	7.2%
身体的リハビリテーション	8人	4.8%

4番目に必要な支援		
精神科以外の定期的な通院	11人	6.6%
重度認知症デイケア	11人	6.6%
身体的リハビリテーション	9人	5.4%
成年後見制度等の活用	9人	5.4%
自宅以外の場所に通って行われる支援	6人	3.6%

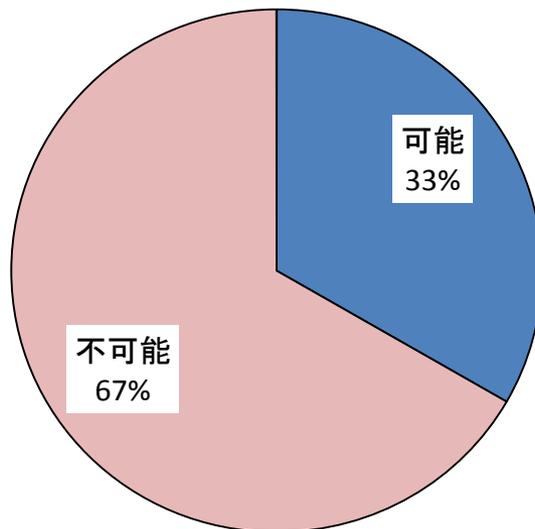
問27 問24で1, あるいは3と回答した人のうち、仮に退院するとした場合、家族や友人などから得られる支援の程度

- 1. 支援は得られない (N=167)
- 2. 助言・精神的な支援
- 3. 週数回のADL、IADLの支援
- 4. ほぼ毎日のADL、IADLの支援
- 5. 必要であれば24時間を通じてのADL、IADLの支援や見守り



付問27-1 問27で2, 3, 4, 5と回答した人のうち、回答した支援が得られれば退院可能か

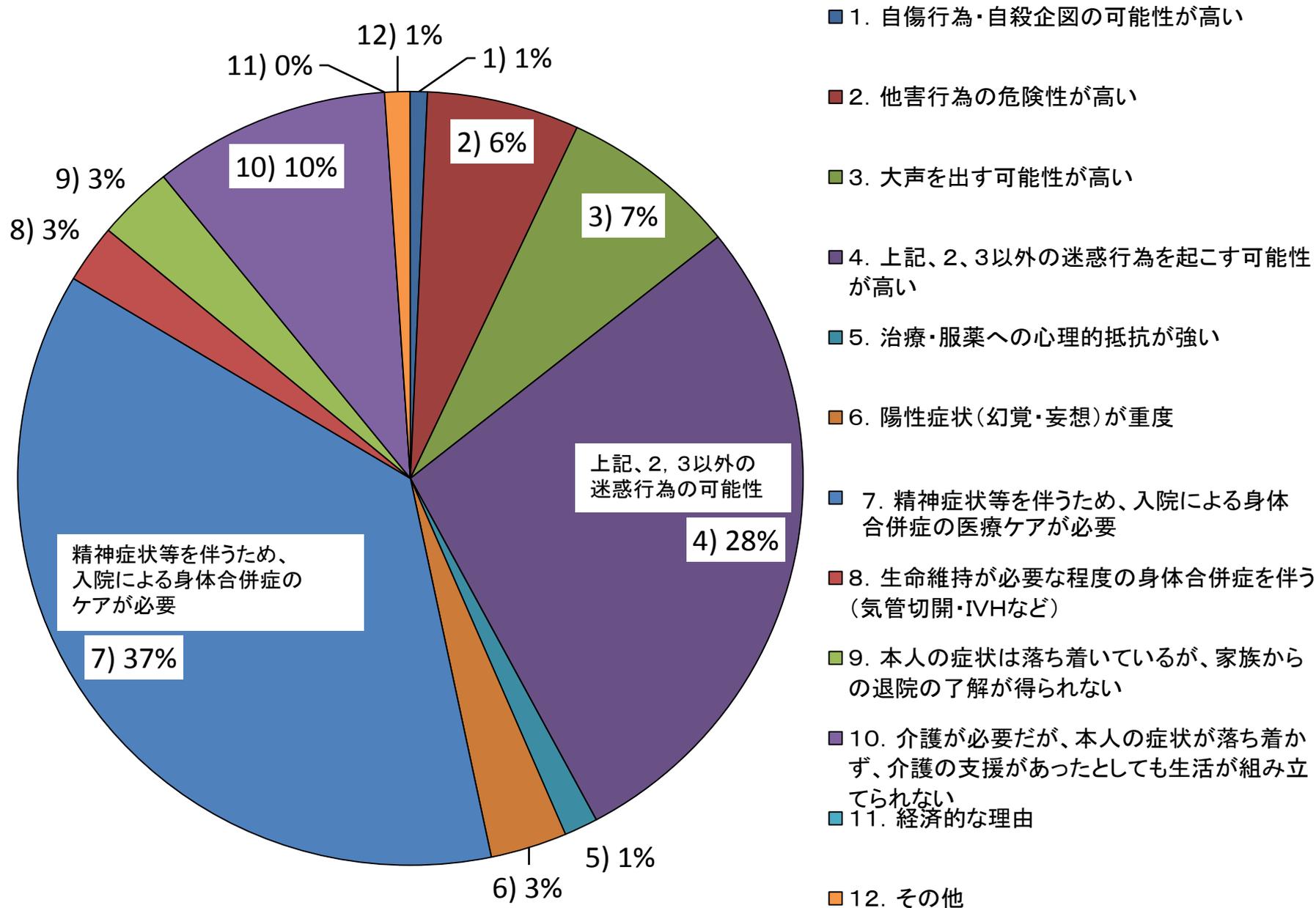
(N=125)



- 可能
- 不可能

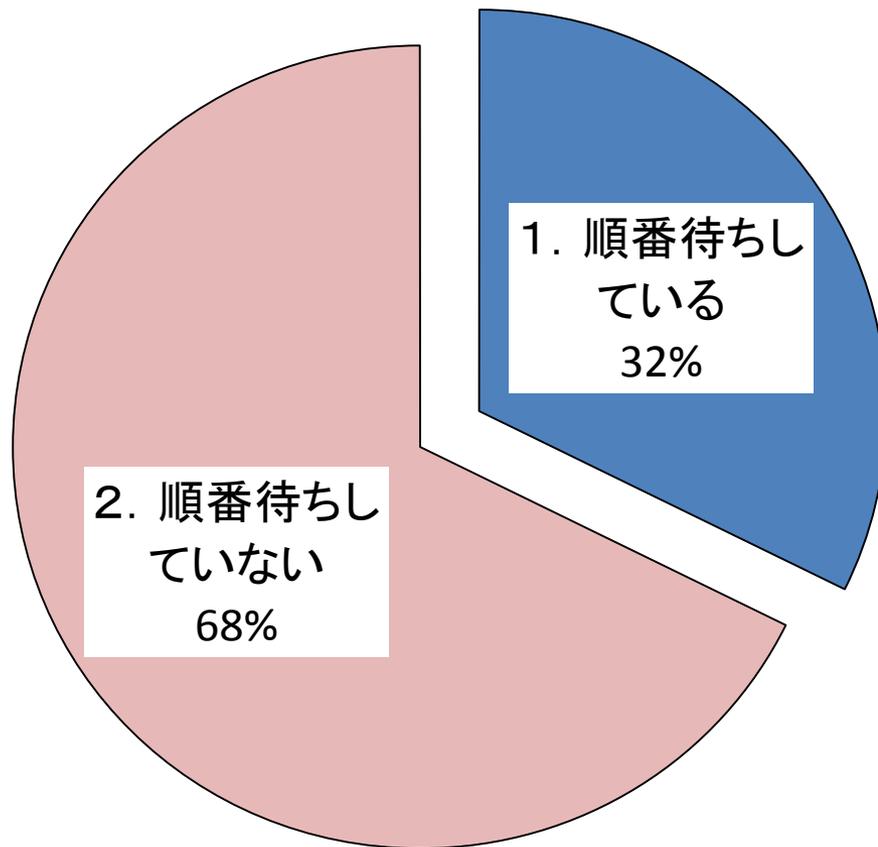
問28 問24で4の回答をした人のうち、退院の可能性がない理由

(N=283)



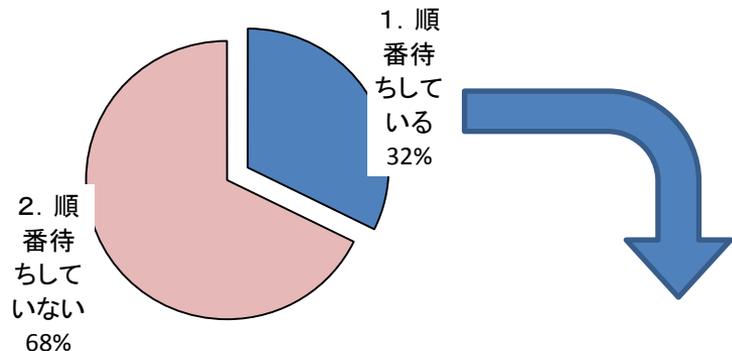
問29 現在転院・入所の順番待ちをしているか

(N=452)

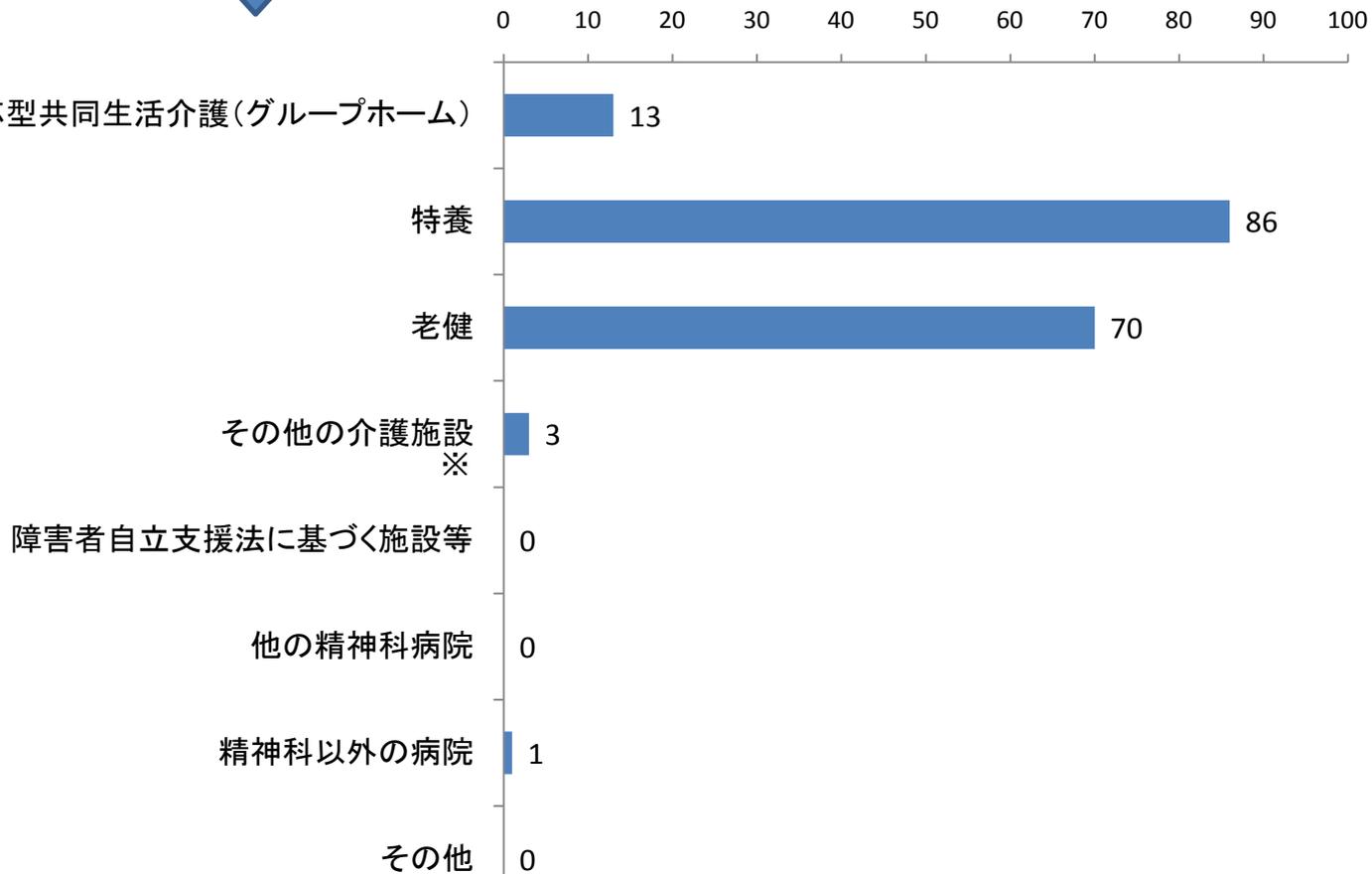


付問29-1 問29で1の回答をした人のうち、どのような施設を順番待ちしているか

(複数回答可) (N=146)

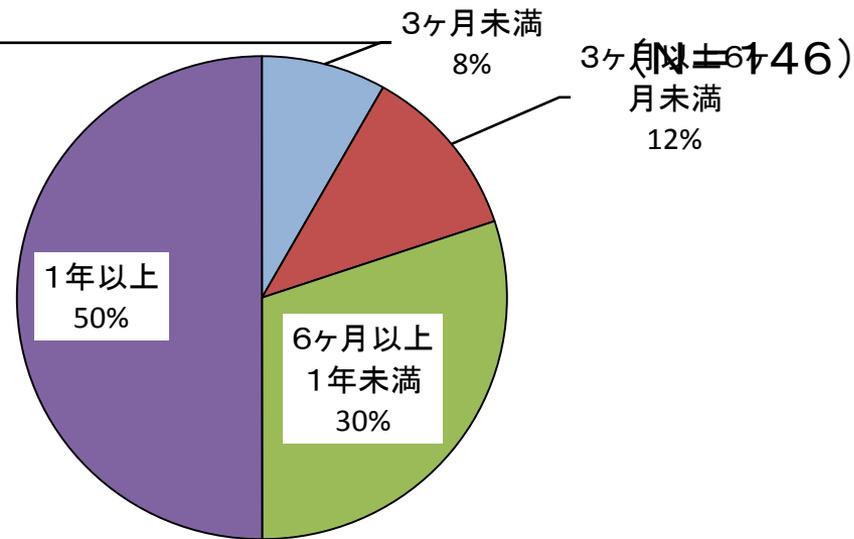
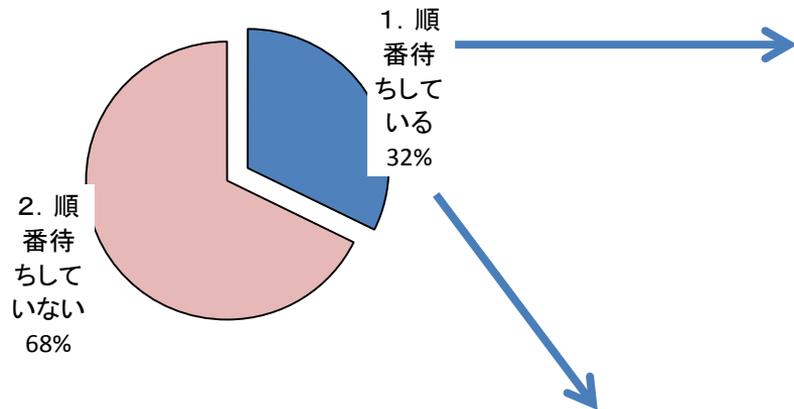


認知症対応型共同生活介護(グループホーム)

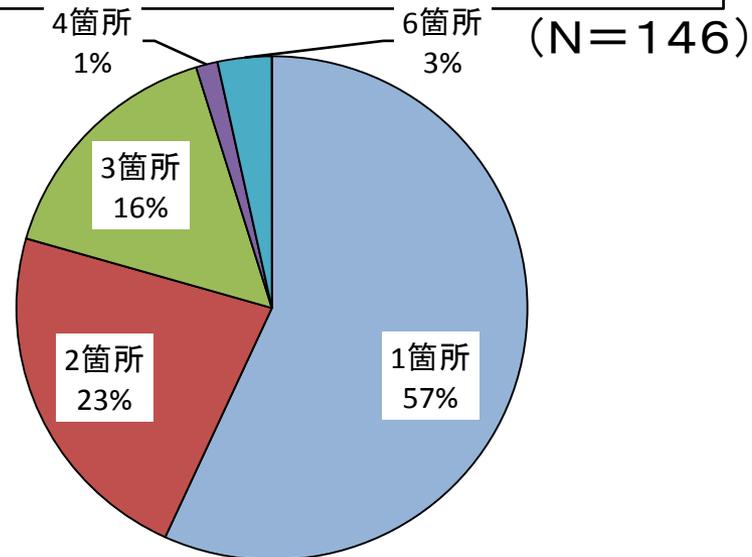


※その他の介護施設(有料老人ホーム、軽費老人ホーム、高齢者専用賃貸住宅など)

付問29-2 問29で1の回答をした人のうち、転院・入所の順番待ち期間

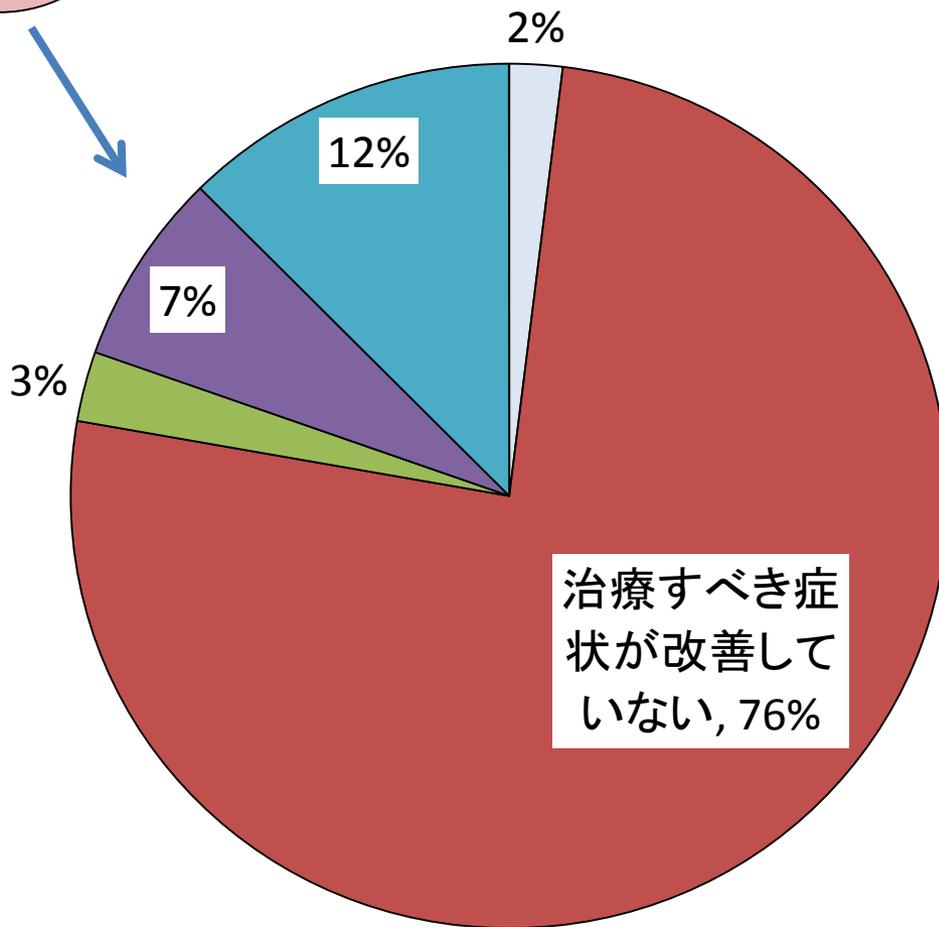
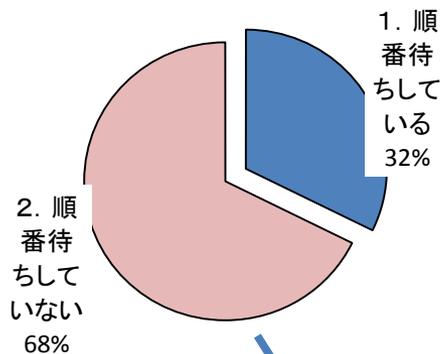


付問29-3 問29で1の回答をした人のうち、転院・入所の順番待ちの施設・医療機関の予約箇所数



付問29-4 問29で2の回答をした人のうち、順番待ちをしていない理由

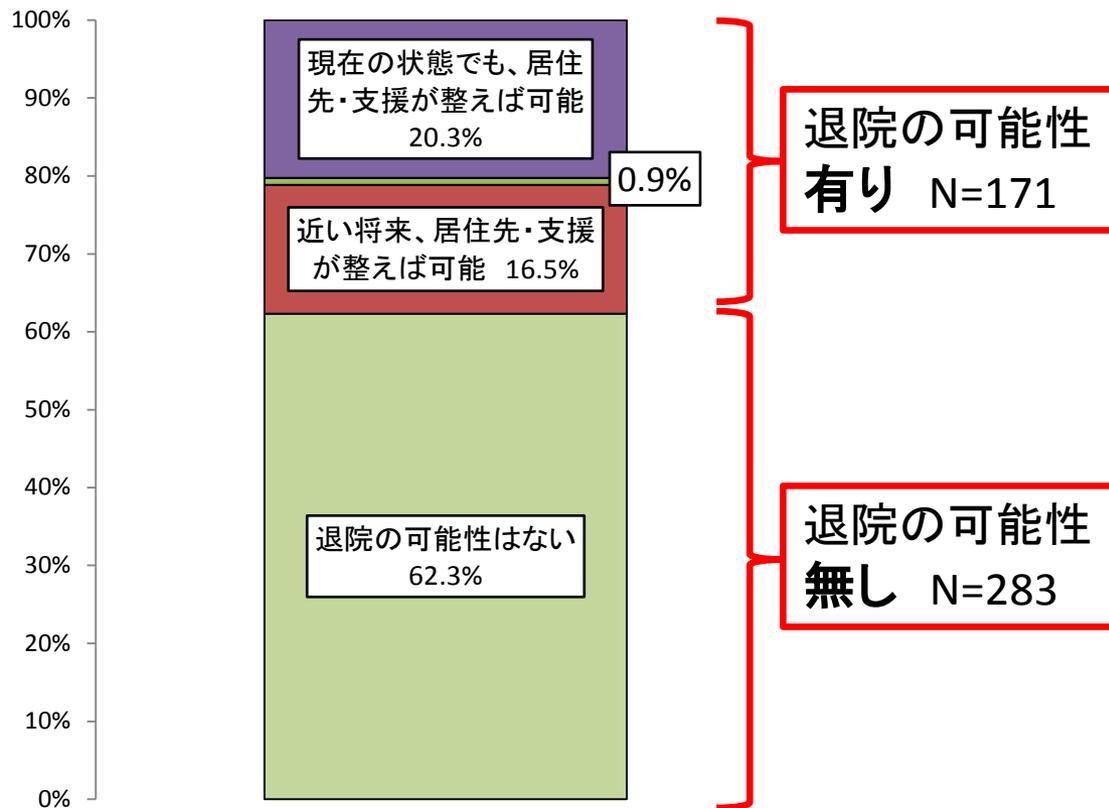
(N=306)



- 自宅への退院を予定しているため順番待ちをしていない
- 治療すべき症状が改善していない
- 経済的な理由
- 精神・身体症状は安定しているが、入所が断られると考えられ順番待ちをしていない
- その他

問24(居住先・支援が整った場合の退院の可能性)とのクロス集計

- 1. 現在の状態でも、居住先・支援が整えば退院は可能
- 2. 状態の改善が見込まれるので、居住先・支援などを新たに用意しなくても近い将来(6ヶ月以内)には退院が可能になる
- 3. 状態の改善が見込まれるので、居住先・支援が整えば近い将来(6ヶ月以内)には可能になる
- 4. 状態の改善が見込まれず、居住先・支援を整えても近い将来(6ヶ月以内)の退院の可能性はない



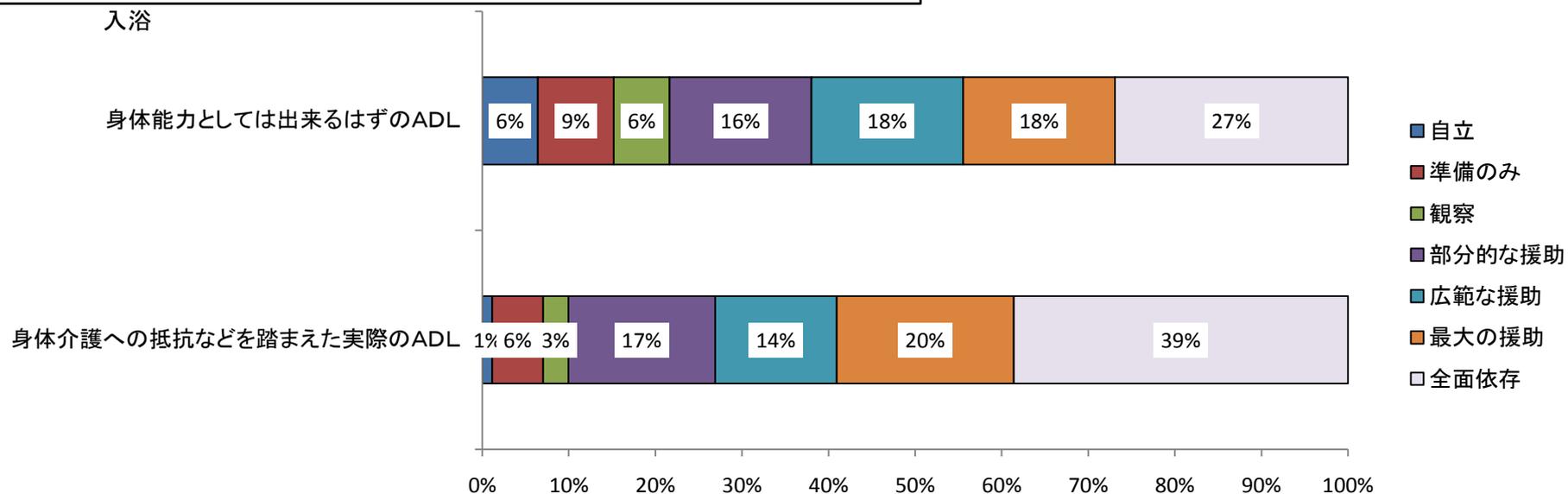
(別紙を挿入)

(別紙を挿入)

問9(調査日から過去3日間のADL)と問24とのクロス集計(1)

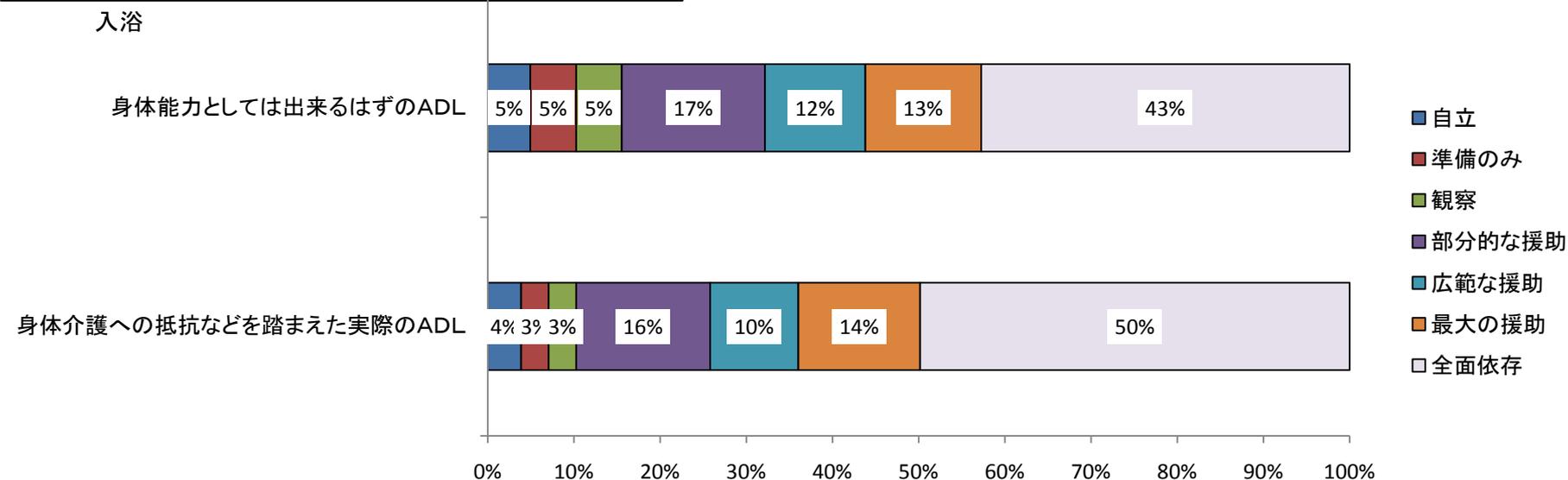
(N=171)

問24で1, 2, 3のいずれかの回答をした人と問9e(入浴)とのクロス集計



問24で4の回答をした人と問9e(入浴)とのクロス集計

(N=283)

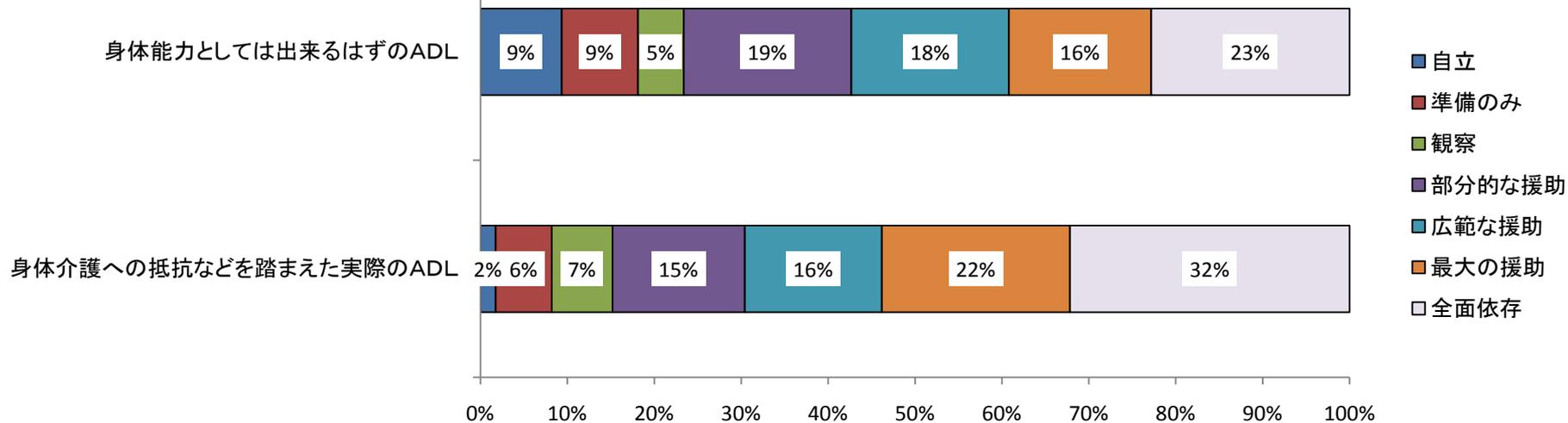


問9(調査日から3日間のADL)と問24とのクロス集計(2)

(N=171)

問24で1, 2, 3のいずれかの回答をした人と問9f(衣服の着脱)とのクロス集計

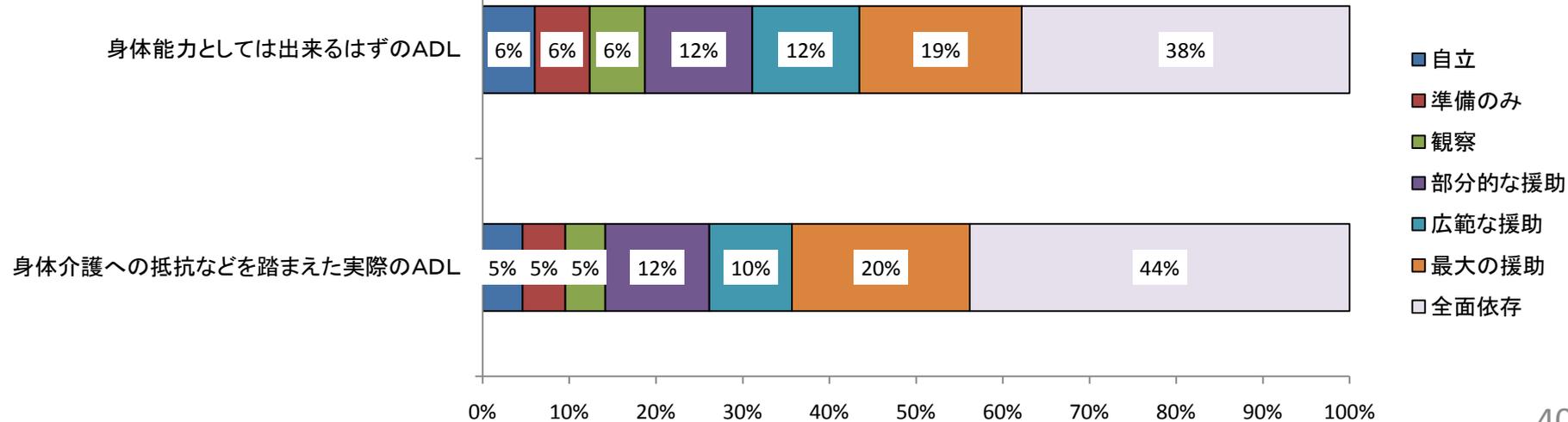
衣服の着脱



問24で4の回答をした人と問9f(衣服の着脱)とのクロス集計

(N=283)

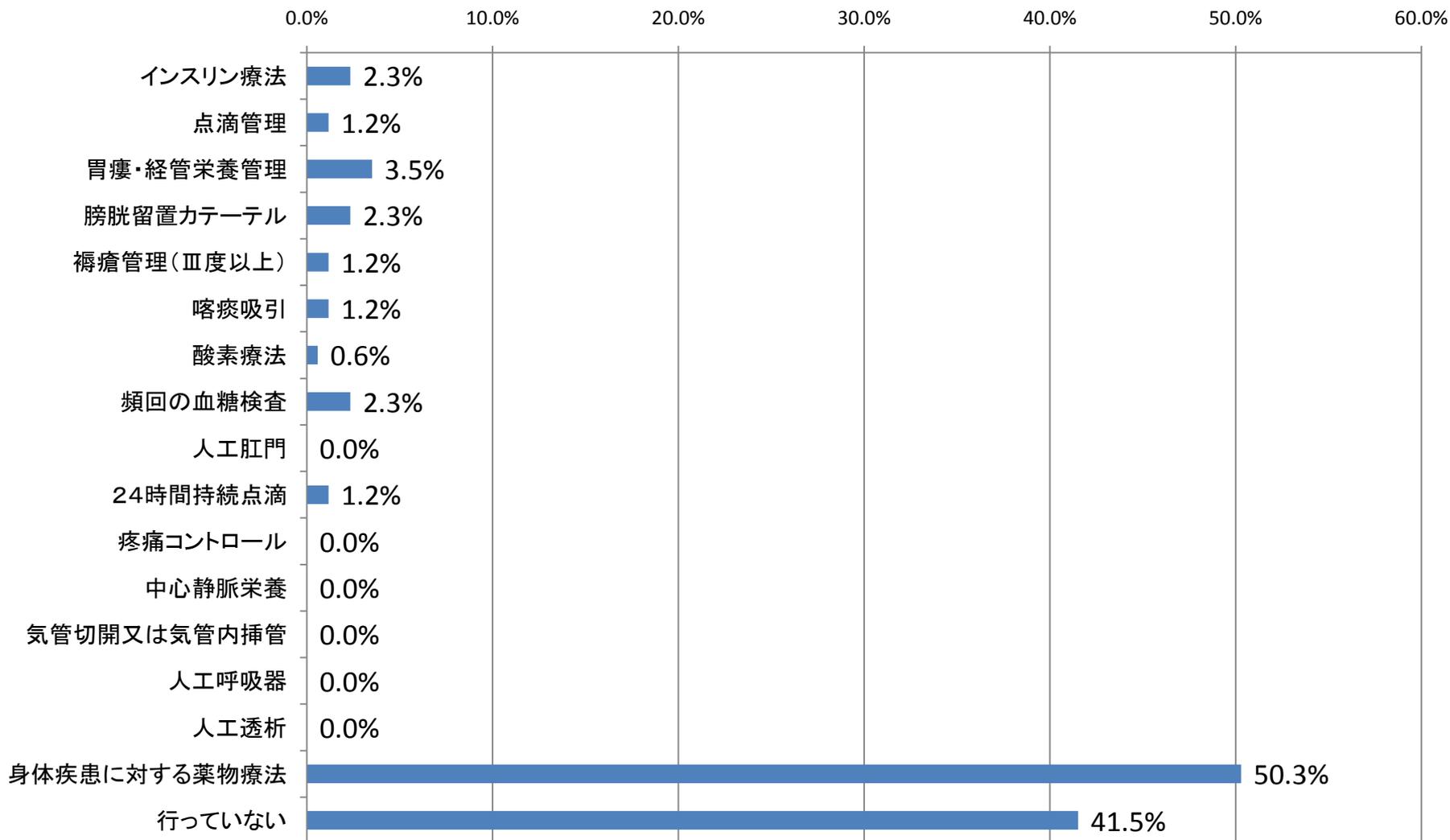
衣服の着脱



問12(調査日における対象者に行っている身体的管理)と問24のクロス集計(1)

問24で1, 2, 3のいずれかの回答をした人と問12とのクロス集計

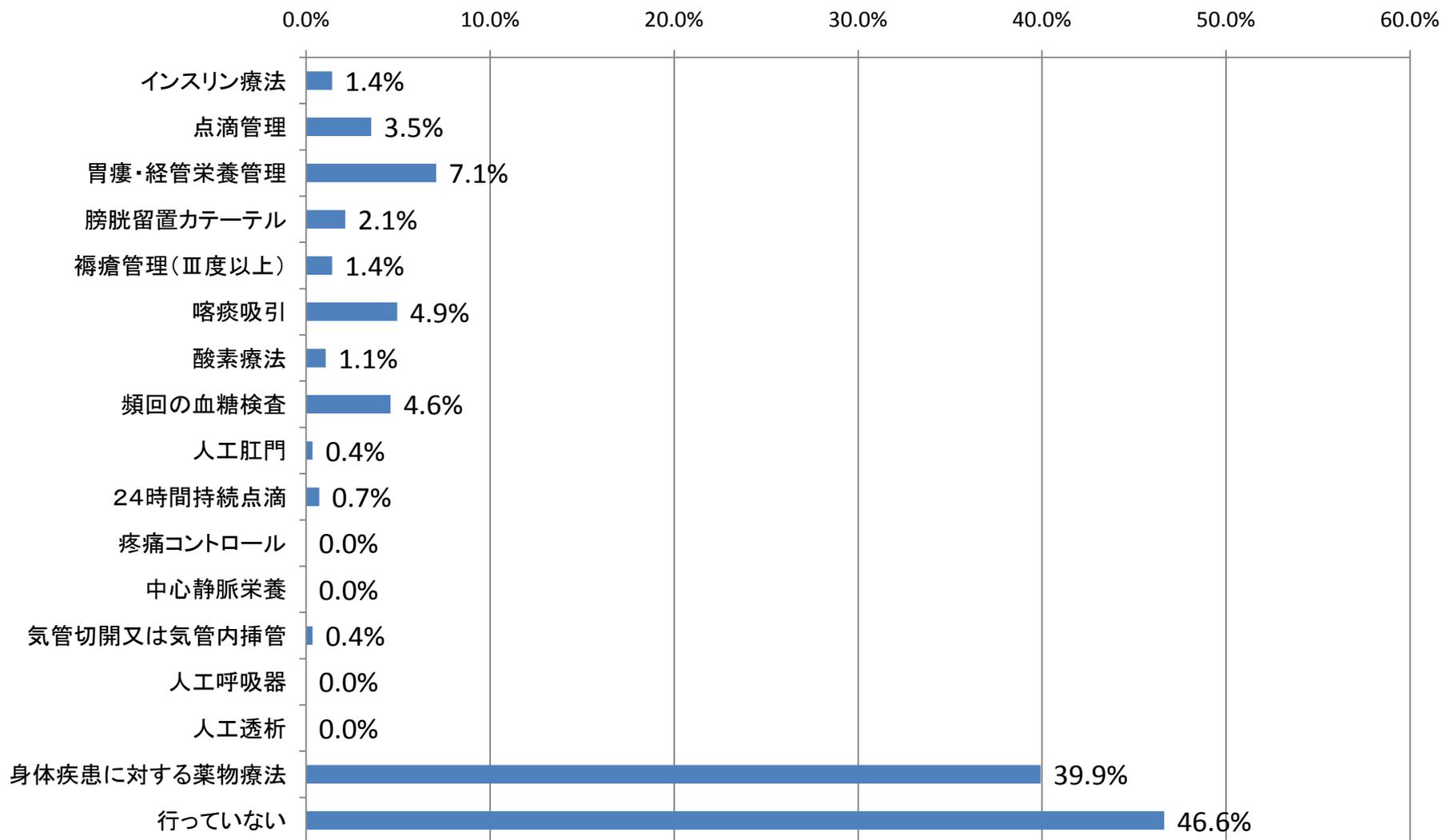
(複数回答可)(N=171)



問12(調査日における対象者に行っている身体的管理)と問24のクロス集計(2)

問24で4の回答をした人と問12とのクロス集計

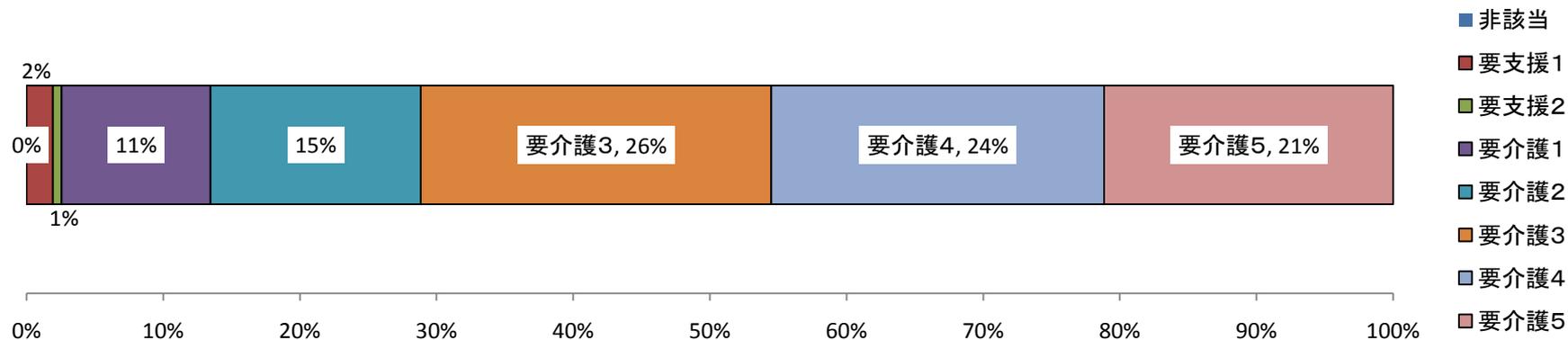
(複数回答可)(N=283)



問6(要介護認定)と問24のクロス集計

問24で1, 2, 3のいずれかの回答をした人と問6とのクロス集計【申請なしを除外して集計】

(N:156 = 171 - 15)



問24で4の回答をした人と問6とのクロス集計【申請なしを除外して集計】

(N:184 = 282 - 98)

